

# 関川村 九ヶ谷地区 住民アンケート 分析レポート

～結果から何が見えてくるか？～

令和3年3月

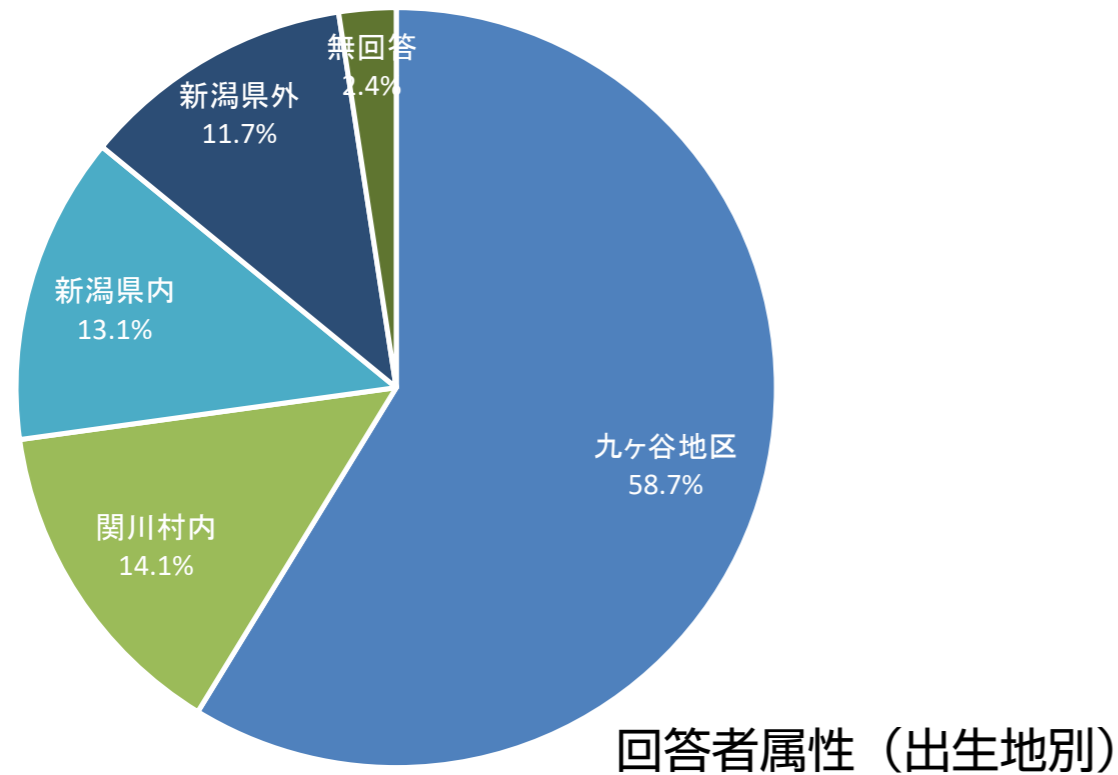
NPO法人 都岐沙羅パートナーズセンター

# 中学生以上の全住民アンケートの実施

配布数：314通

回収数：206通

回収率：**65.6%**



**なかなかの高回収率！**



**地域住民の意向が十分に反映されているデータである**

## 九ヶ谷地区 住民アンケート

- 本アンケートは、住民一人一人の考えを把握し、世代別・男女別に日頃思っている考え・意見を整理するため、中学生以上の方に対して行っています。
- 回答は無記名でお願いいたします。
- 回答の結果は、個人を特定しない形で集計・分析し、今後の地域づくりに役立てていきます。
- アンケート用紙は、一人ひとり提出していただきますので、家族で意見が違って構いません。思ったことをそのまま回答してください。

問1 あなたの年齢と性別について、あてはまるものに○をつけてください。

(年齢) 1. 10～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳  
5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上

(性別) 男性 ・ 女性

問2 あなたの生まれたところはどこですか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 九ヶ谷地区 2. 関川村内(九ヶ谷地区を除く) 3. 新潟県内 4. 新潟県外

問3 あなたの仕事にあてはまるもの**すべてに**○をつけてください。

1. 農業 2. 林業 3. 漁業  
4. 自営業 5. 会社員 6. 公務員・団体職員  
7. パート・アルバイト 8. 専業主婦(夫) 9. 中学生  
10. 高校生・高専生 11. 大学生・短大生・専門学校生  
12. その他( ) 13. 無職

※学生及び仕事されている方は、以下もお答えください。

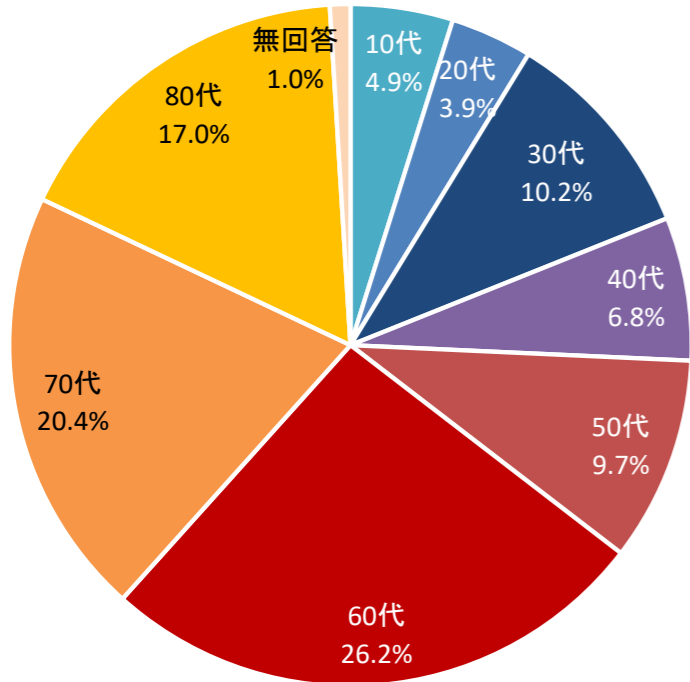
問3-2 休日はいつですか？(祝日を除く)

1. 土曜(毎週)と日曜 2. 土曜(隔週)と日曜 3. 日曜のみ  
4. 平日 4. 不定期

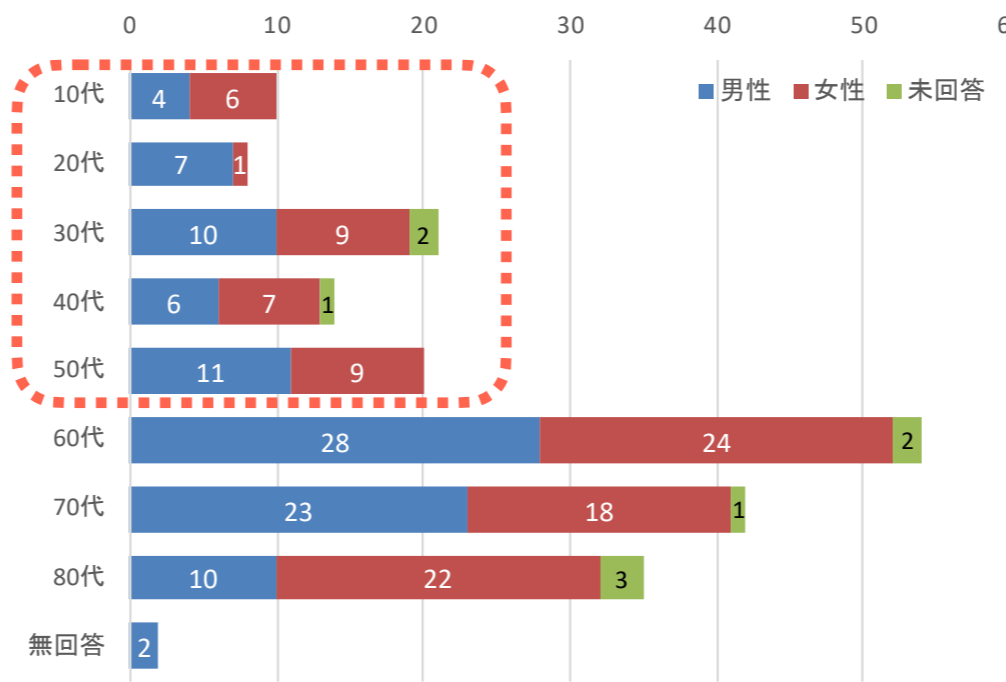
問4 農林業の作業(手伝いも含む)をしていますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 作業をしている 2. 作業をしていない

回答者属性 (年代別)



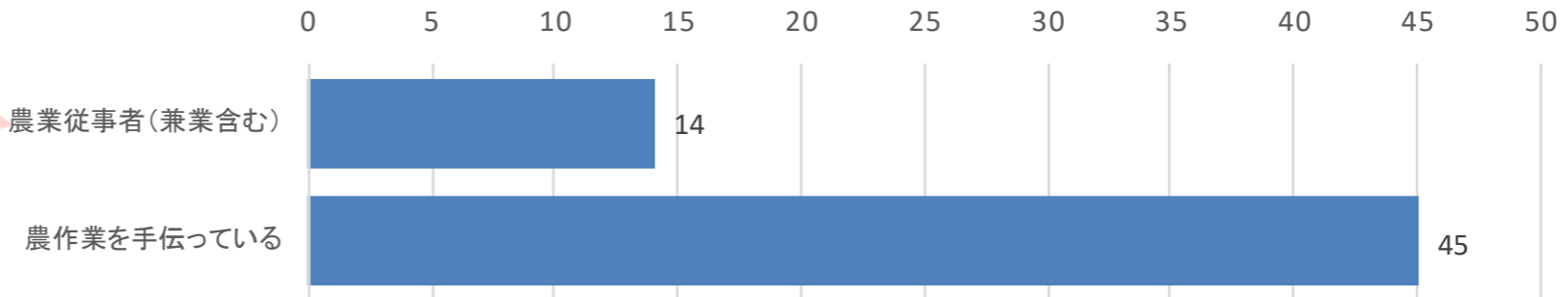
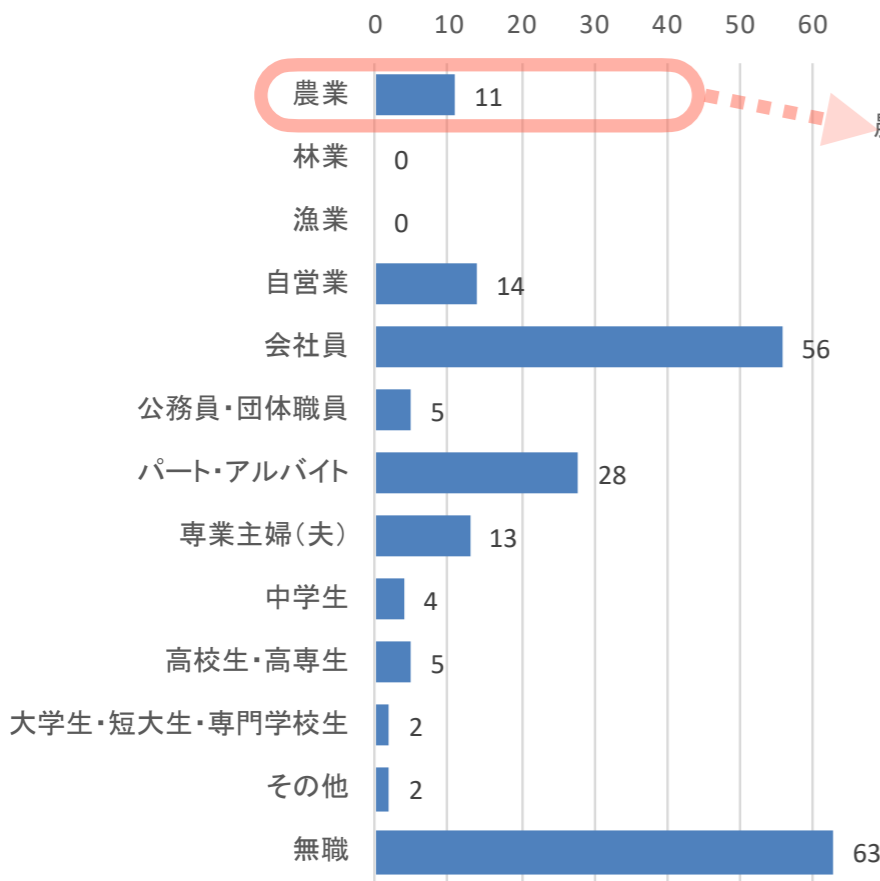
回答者属性 (年代別×男女別)



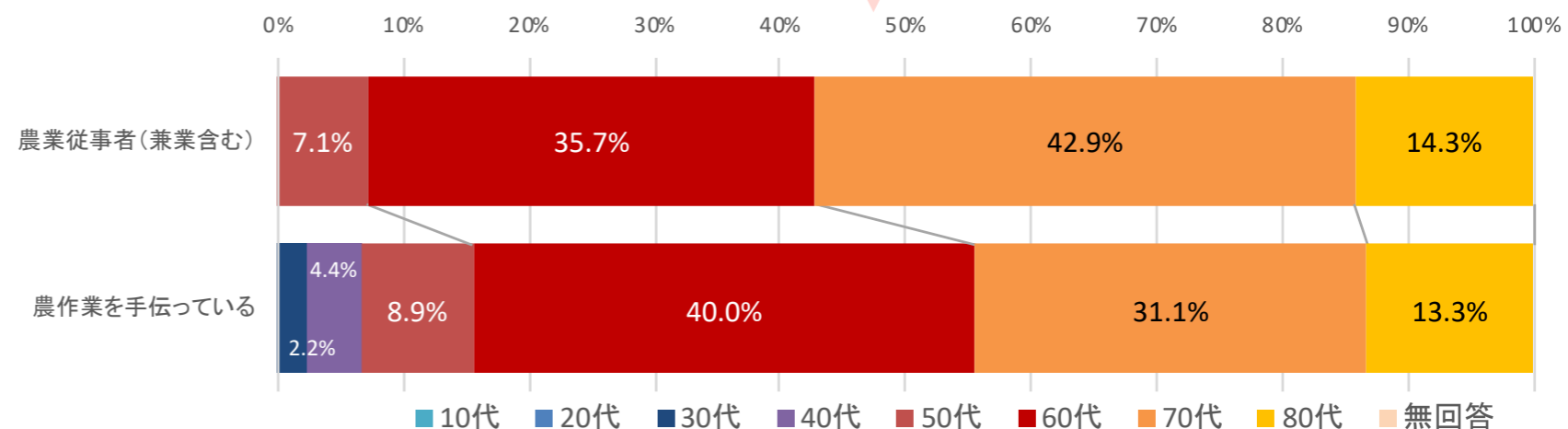
若者・中堅世代は少数派。多数決では年配層には叶わない。



世代別に意見をまとめないと埋没してしまう！



農業従事者数と農作業手伝っている人数の比較

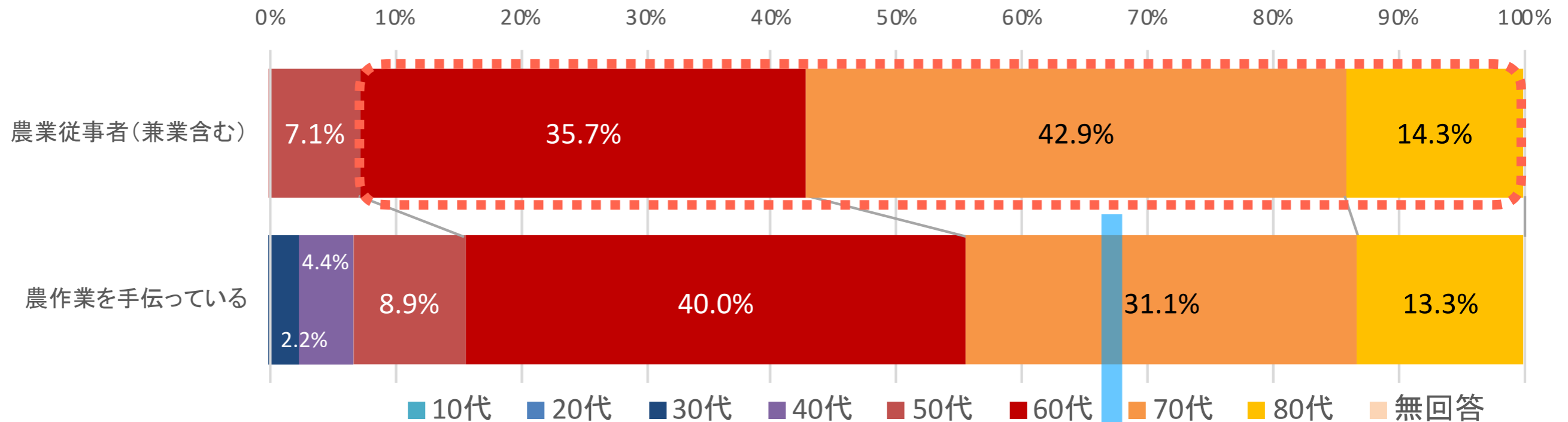


回答者属性 (職業)

農業従事者の年代構成 (割合)

# 農業従事者の年代構成

関川村九ヶ谷地区 (2020)



農業作業に関わっている人の年代構成 (人数)

年代	農業従事者	農作業を手伝っている
10代	0	0
20代	0	0
30代	0	1
40代	0	2
50代	1	4
<b>60代</b>	<b>5</b>	<b>18</b>
<b>70代</b>	<b>6</b>	<b>14</b>
<b>80代</b>	<b>2</b>	<b>6</b>
<b>計</b>	<b>14</b>	<b>45</b>

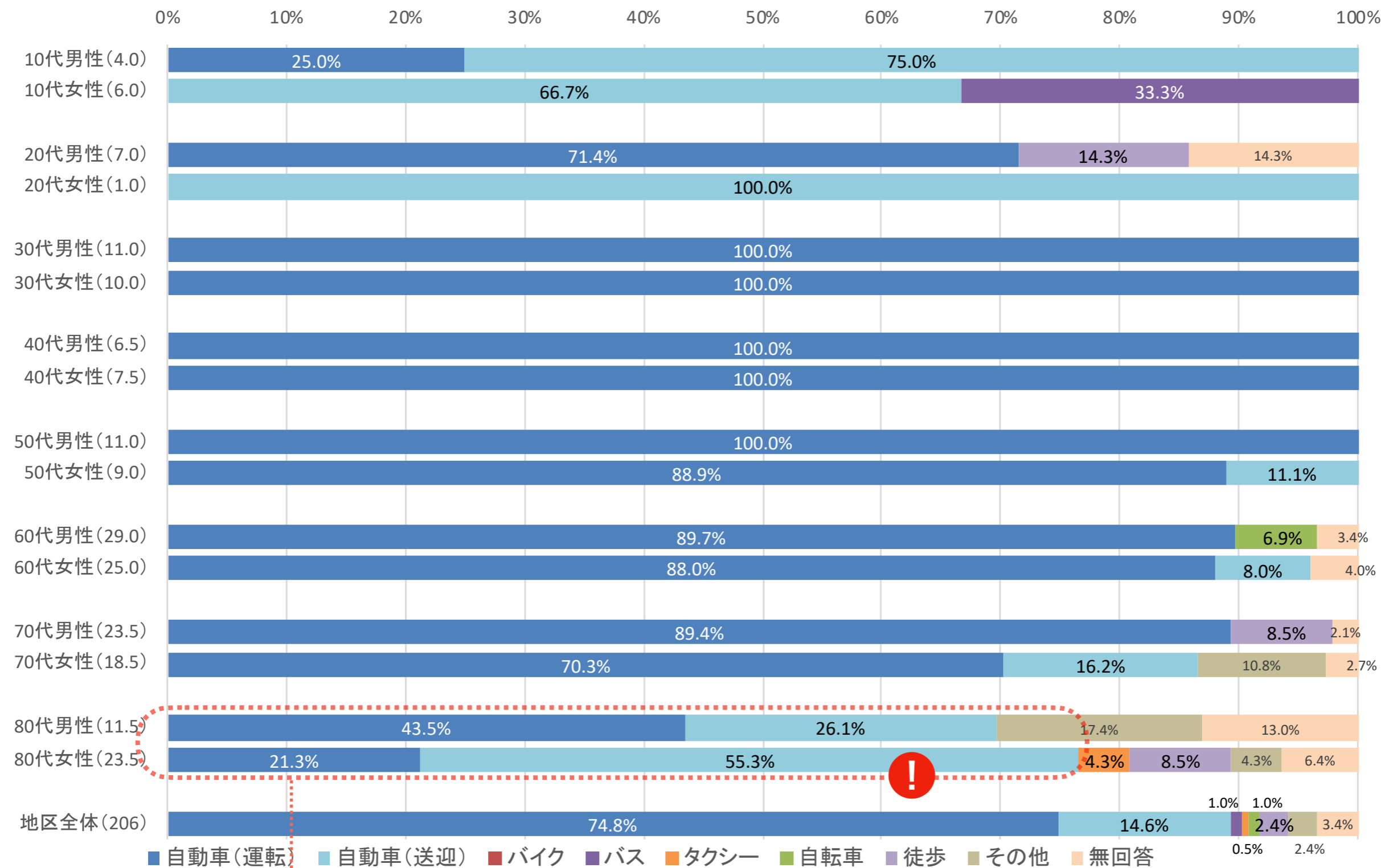
農業従事者の**92.9%**が**60代以上**

**農地の維持管理はどうなりますか？**

**20年後、農作業を手伝っている人数は20人程度!?**

# 年代別・男女別の日常的な交通手段

関川村九ヶ谷地区 (2020)



将来的に送迎する側の人数が減少すると・・・  
日常生活での移動が困難になる人の数は確実に増加する

80代になると自分で車の運転をする人の割合が減少



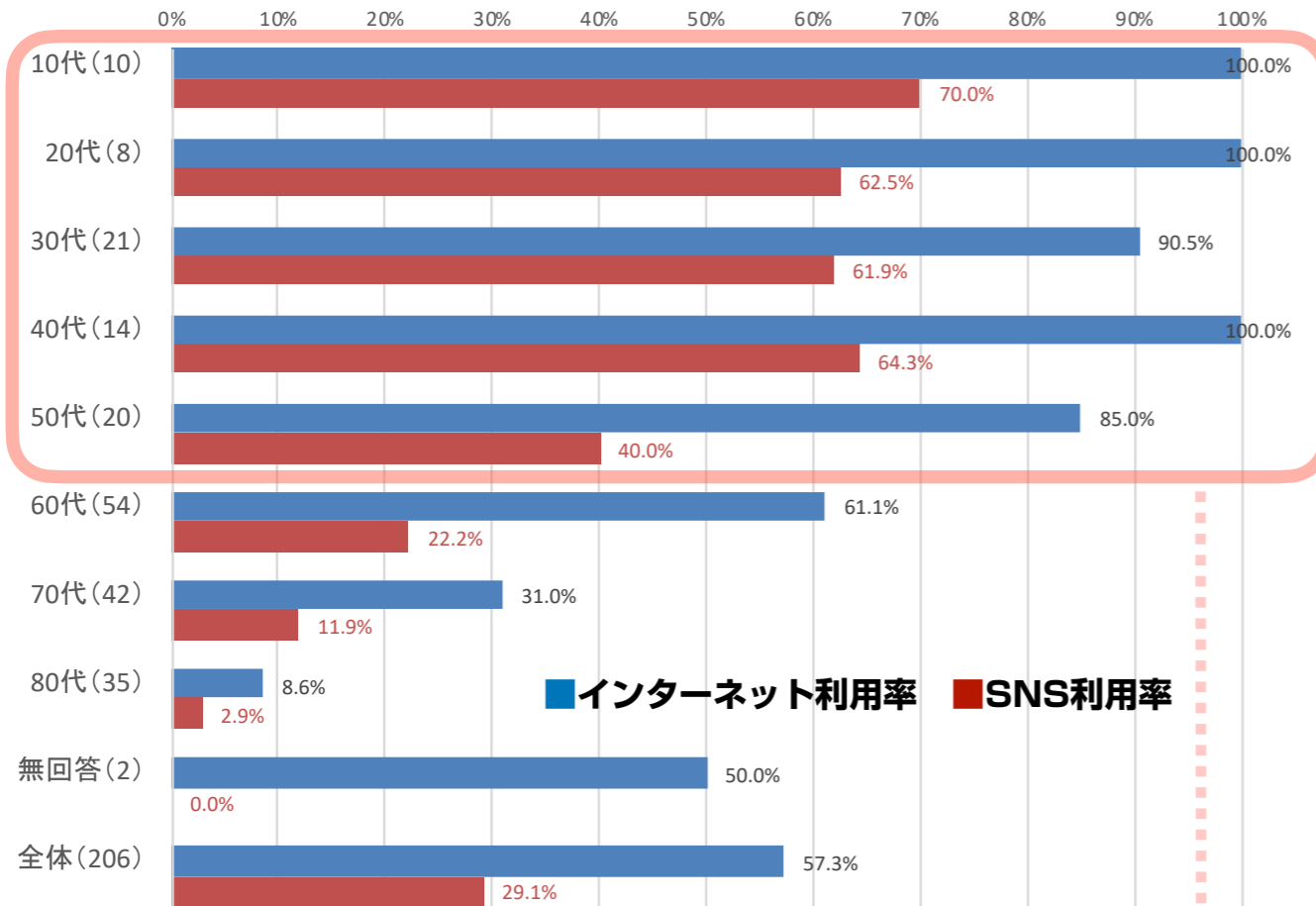
家族の送迎で高齢者の移動手段が賄われている



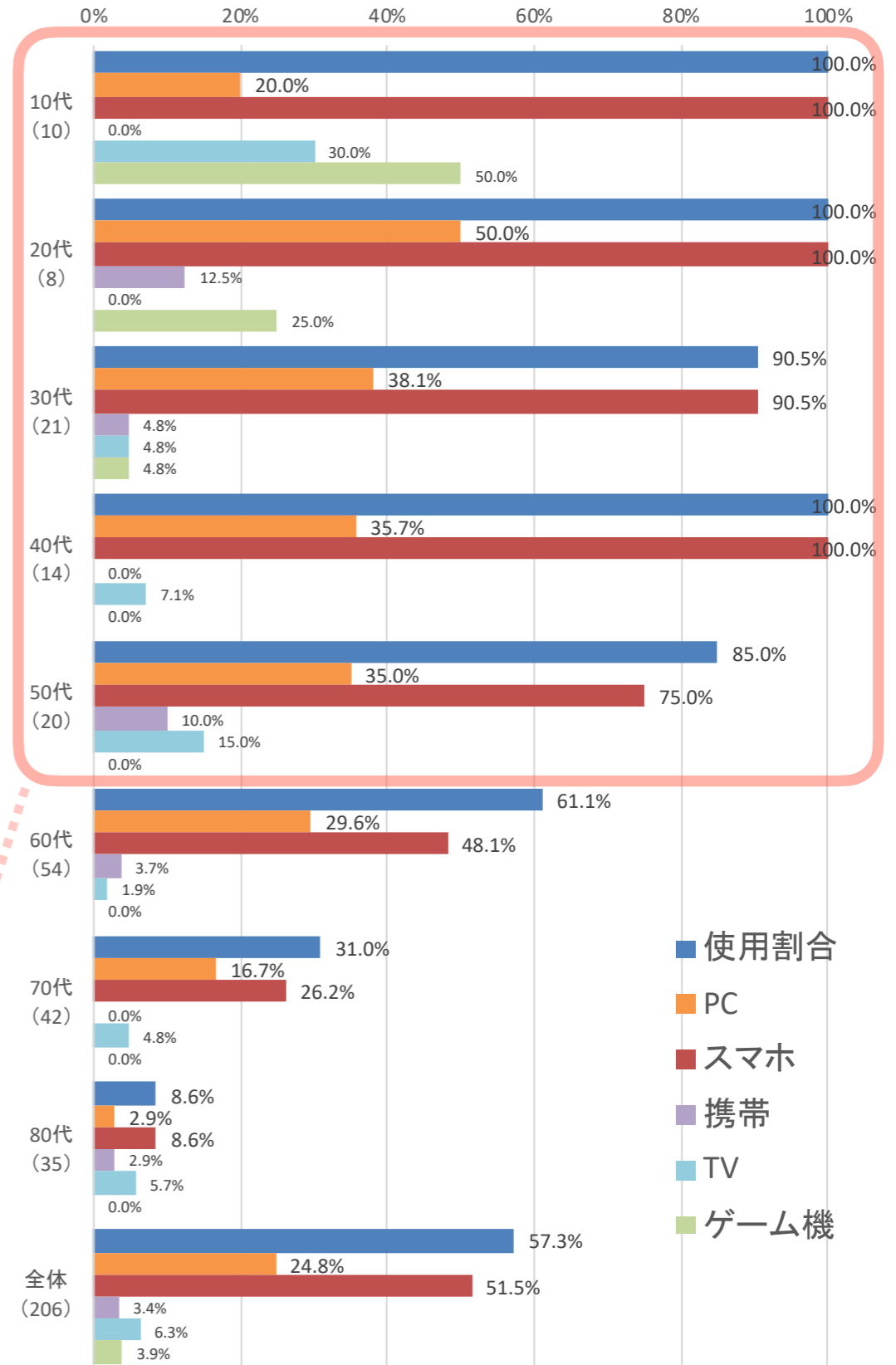
# インターネットの利用割合

関川村九ヶ谷地区（2020）

年代別インターネットの利用率



年代別インターネット利用における使用機器

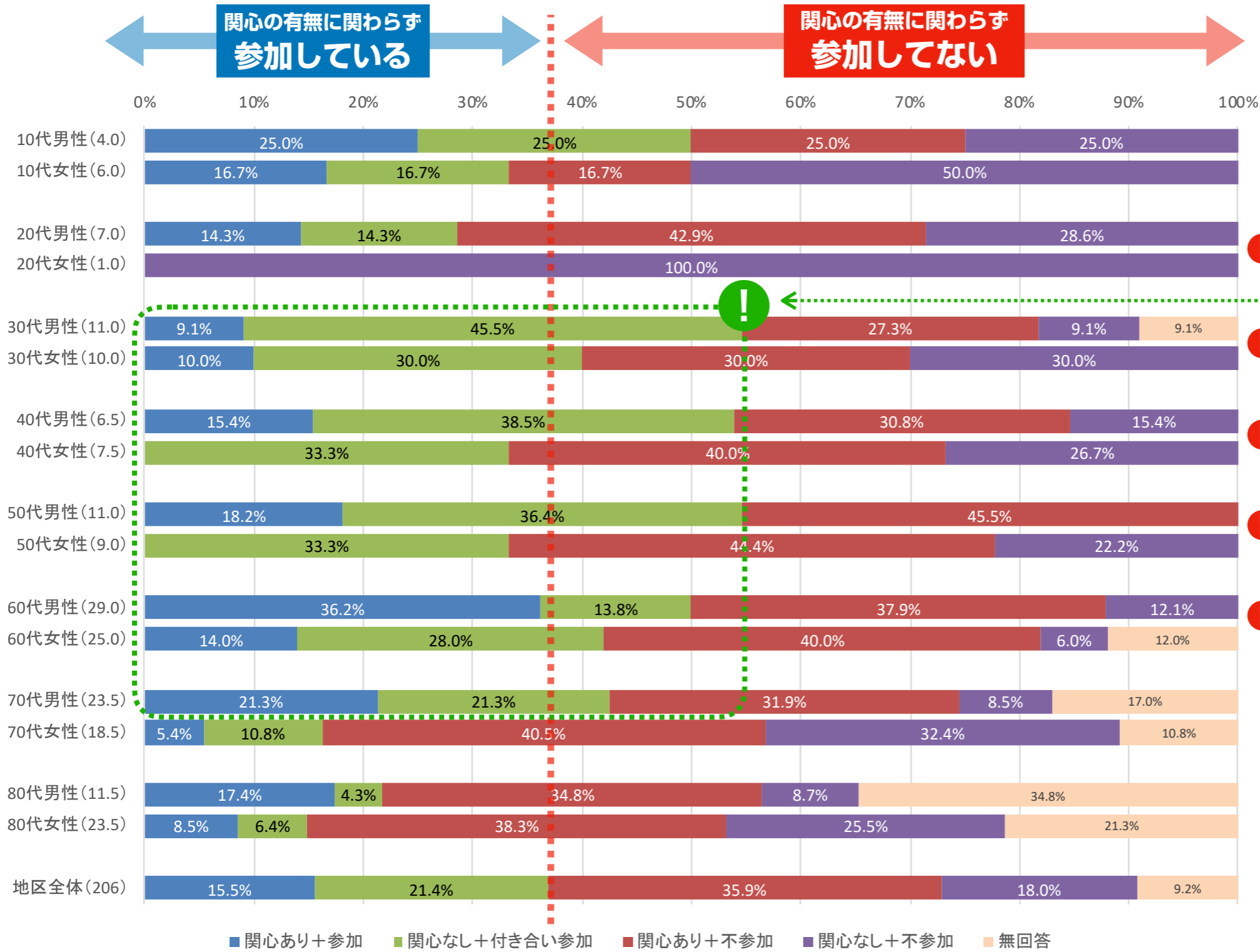


- 全体の半数以上がインターネットを利用。
- **50代以下はほぼ大半**がインターネットを利用。（60代でも6割以上）
- **大半がスマホ・携帯**で利用している。
- 40代以下は**6割以上がSNS**を利用。

**50代以下はスマートフォン経由での情報伝達の方が効果的?!**

# 地域活動への関心（年齢別・男女別）

関川村九ヶ谷地区（2020）



現状は  
30～70代（特に男性）  
が頑張っているので何とか  
回っている。

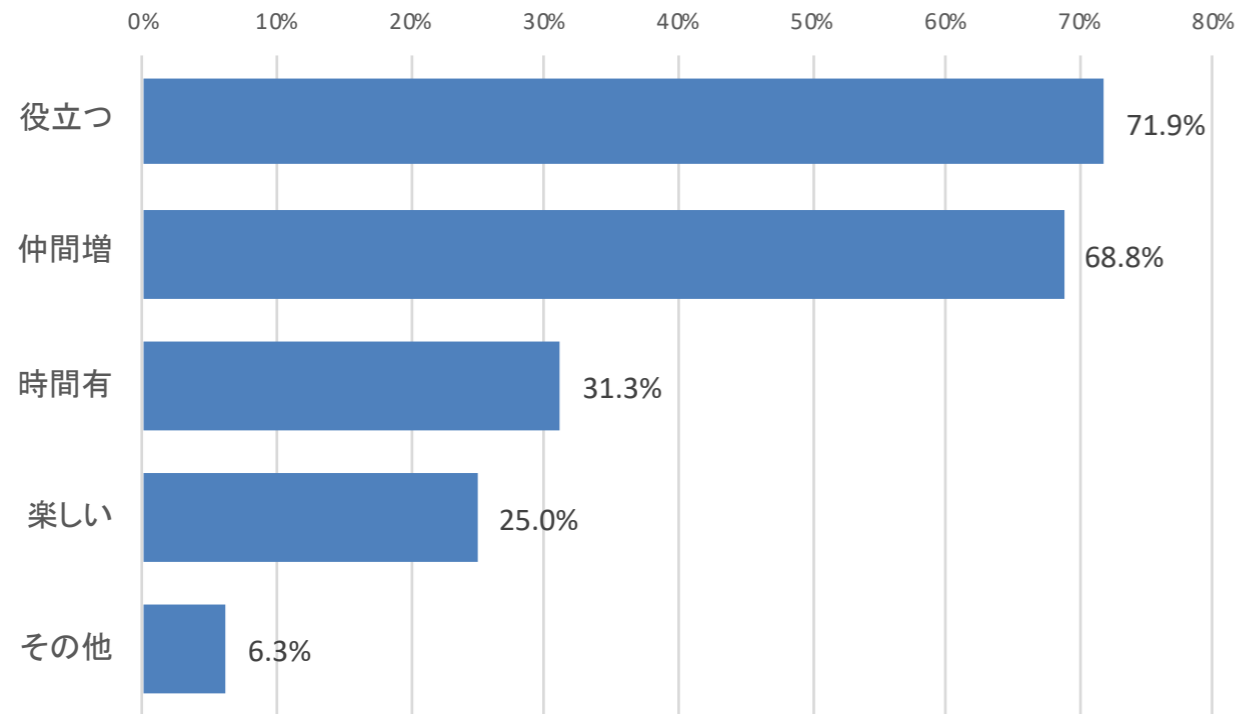
【注意！】  
20～60代は  
関心あり+不参加  
が3～4割いる

必ずしも「地域活動に参加していない＝関心が無い」という訳ではない。  
女性は「関心があっても参加していない」割合が男性に比べて高い。

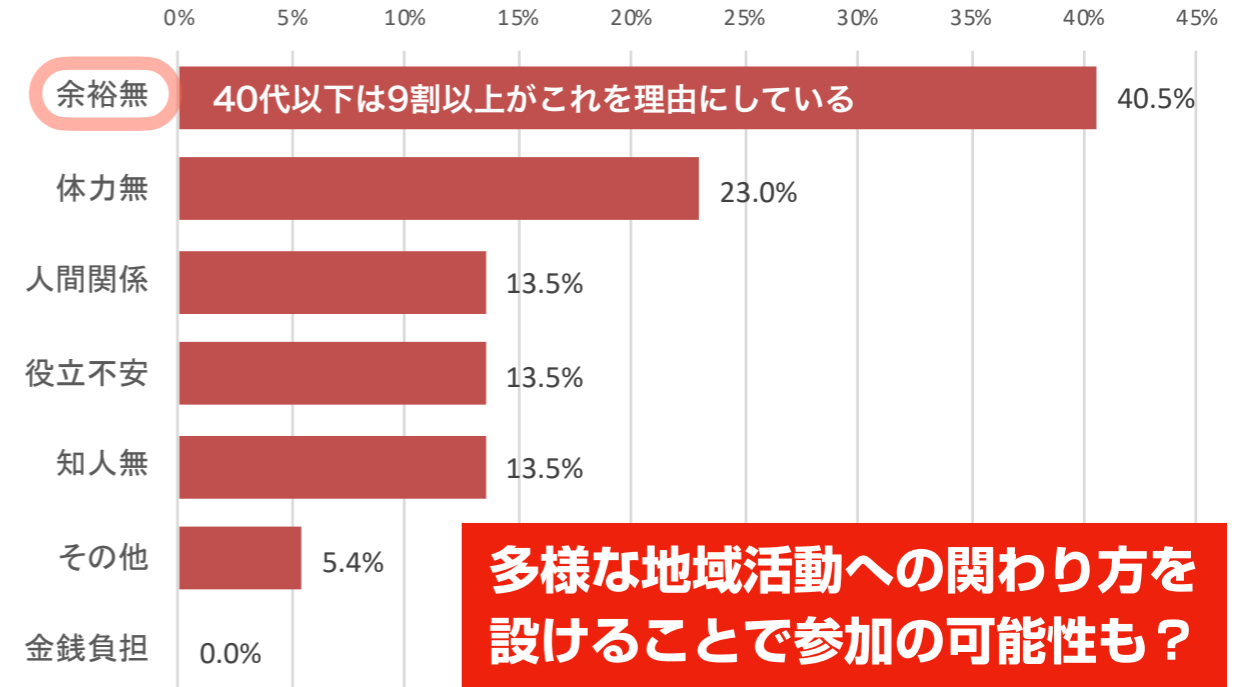
# 地域活動への関心 (それぞれの理由) ※複数回答

関川村九ヶ谷地区 (2020)

## 関心あり+参加の理由 (回答数32)

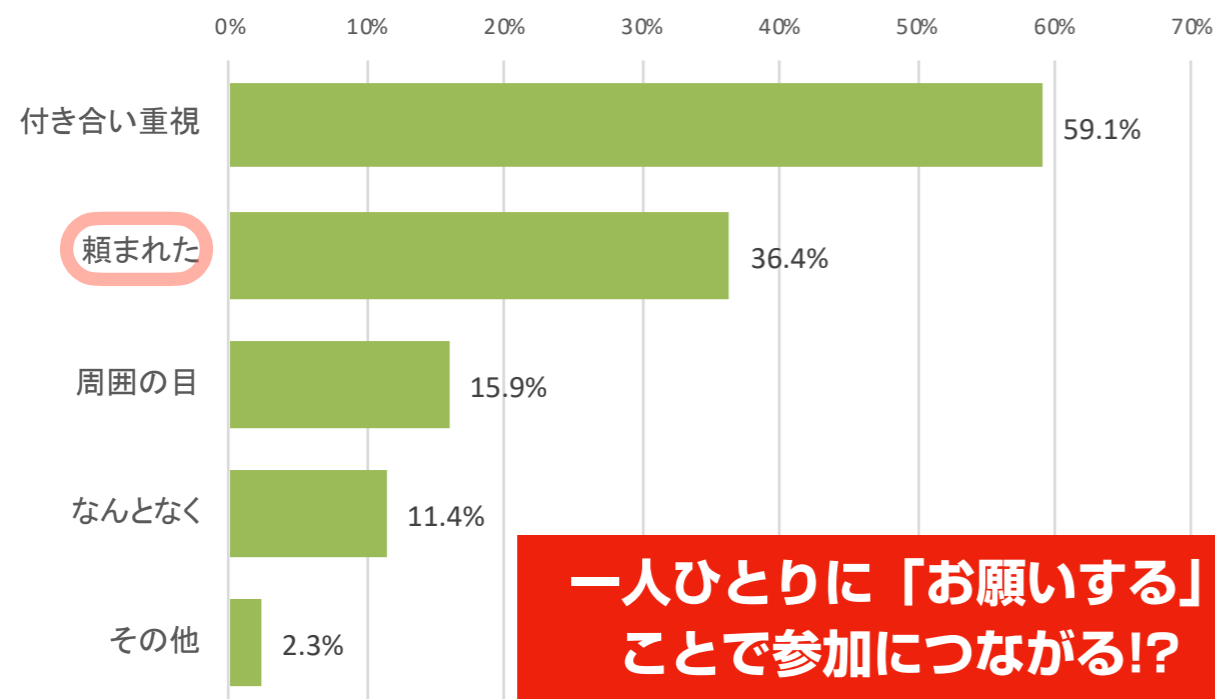


## 関心あり+不参加の理由 (回答数74)



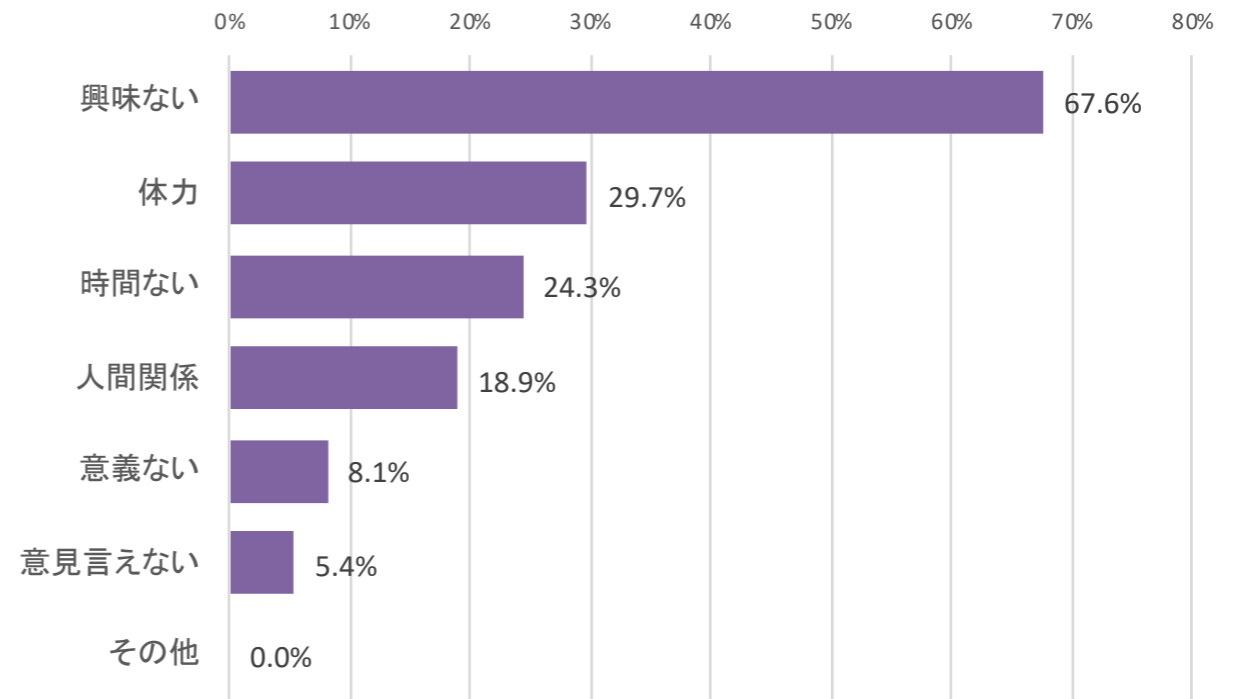
多様な地域活動への関わり方を設けることで参加の可能性も？

## 関心なし+付き合い参加の理由 (回答数44)



一人ひとりに「お願いする」ことで参加につながる!?

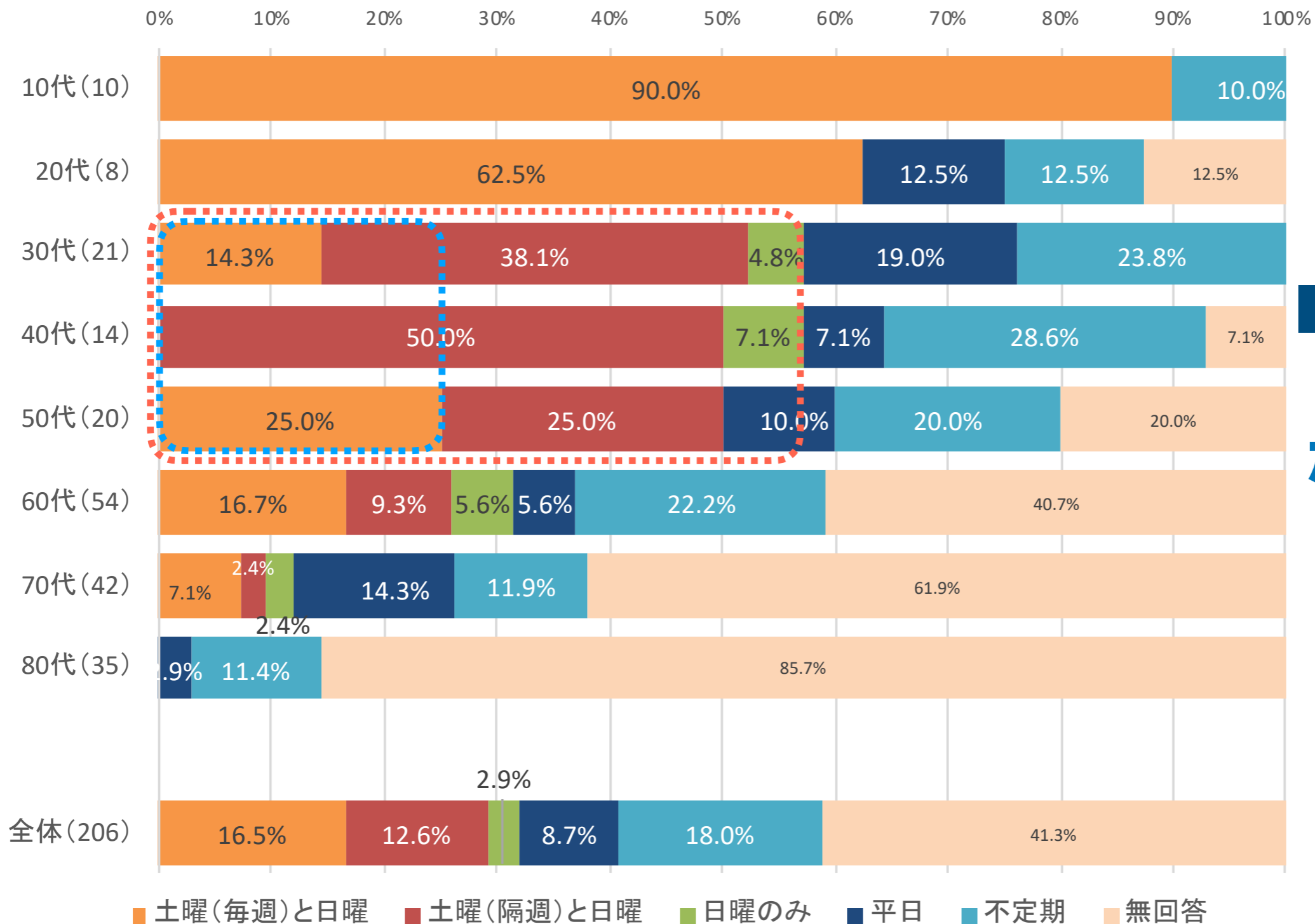
## 関心なし+不参加の理由 (回答数37)





# 休日はいづか？（年代別）

関川村九ヶ谷地区（2020）



**30~50代**

**土曜日が毎週休み  
かなり少数派**

**日曜日が毎週休み  
5割**

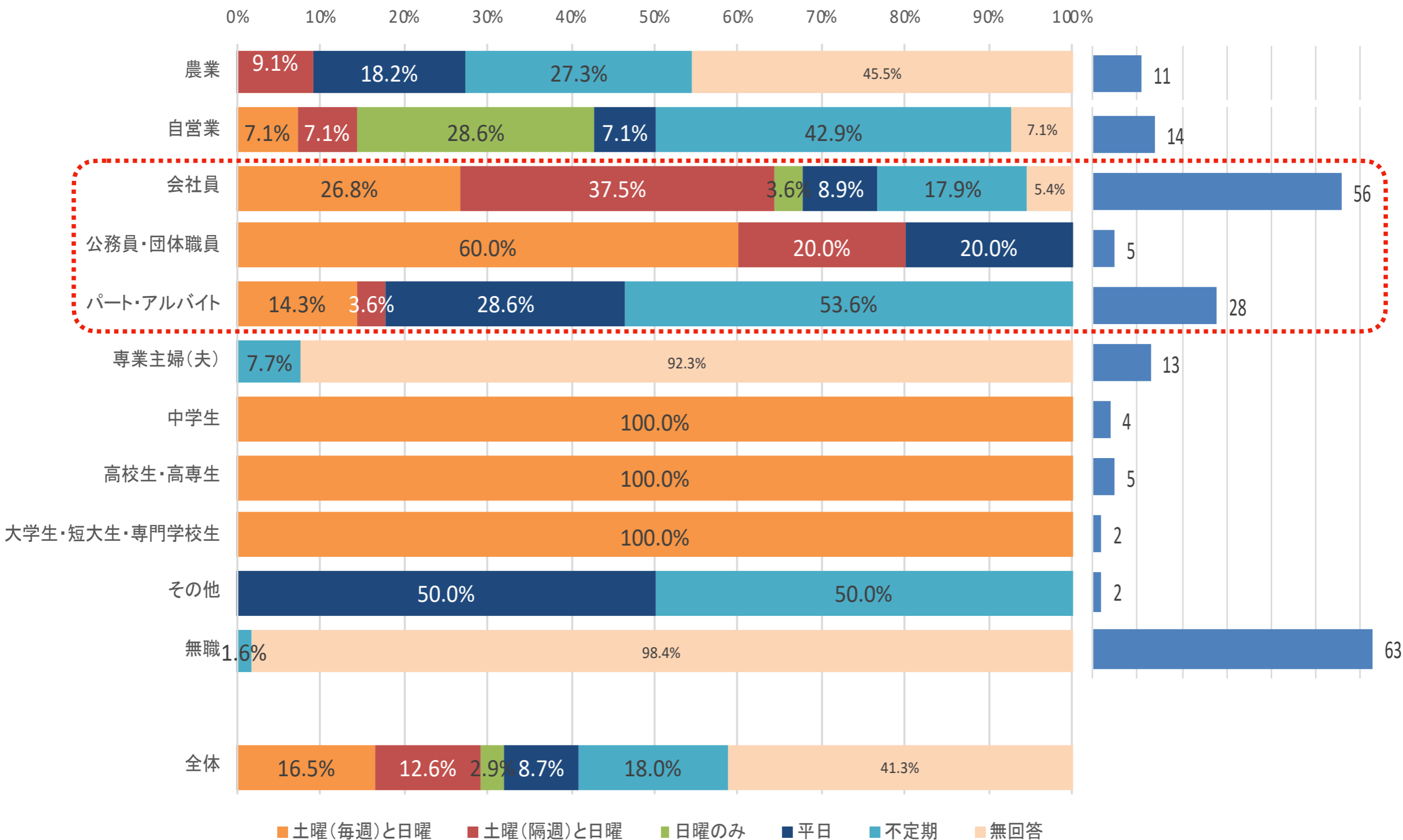
**休みが平日・不定期  
3~4割**

**必ずしも土日は休みではない**

**この世代の参加を求めるのであれば、配慮が必要！**

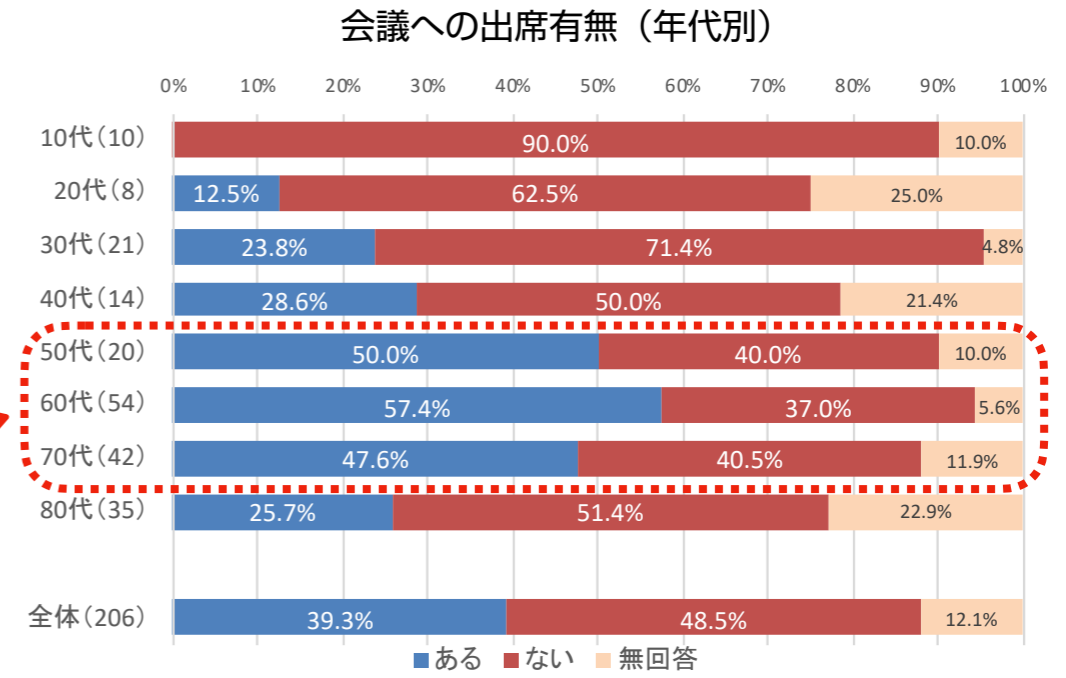
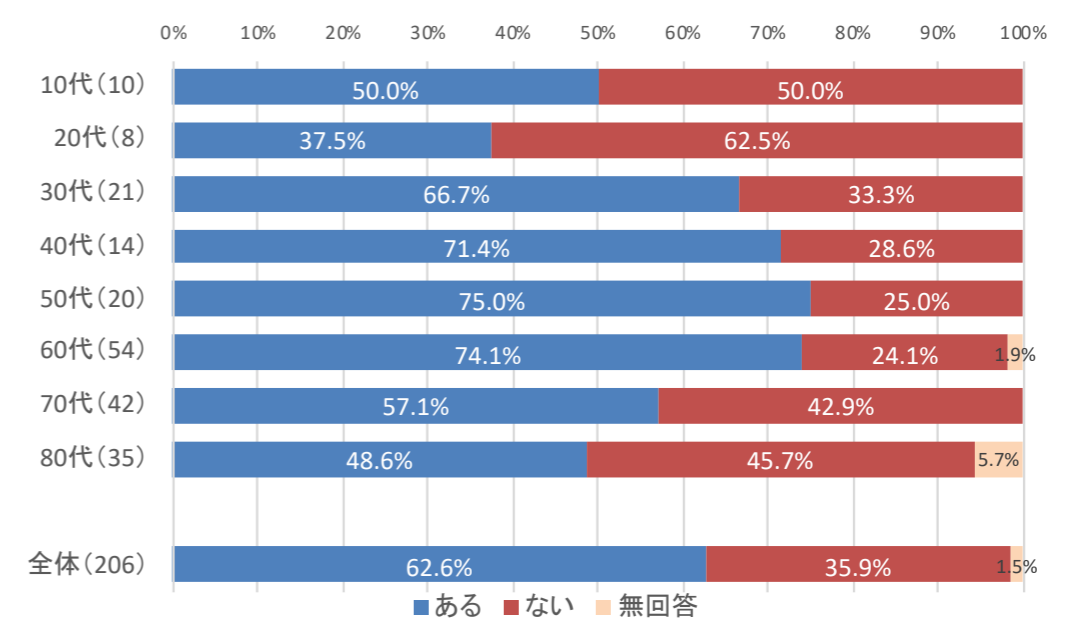
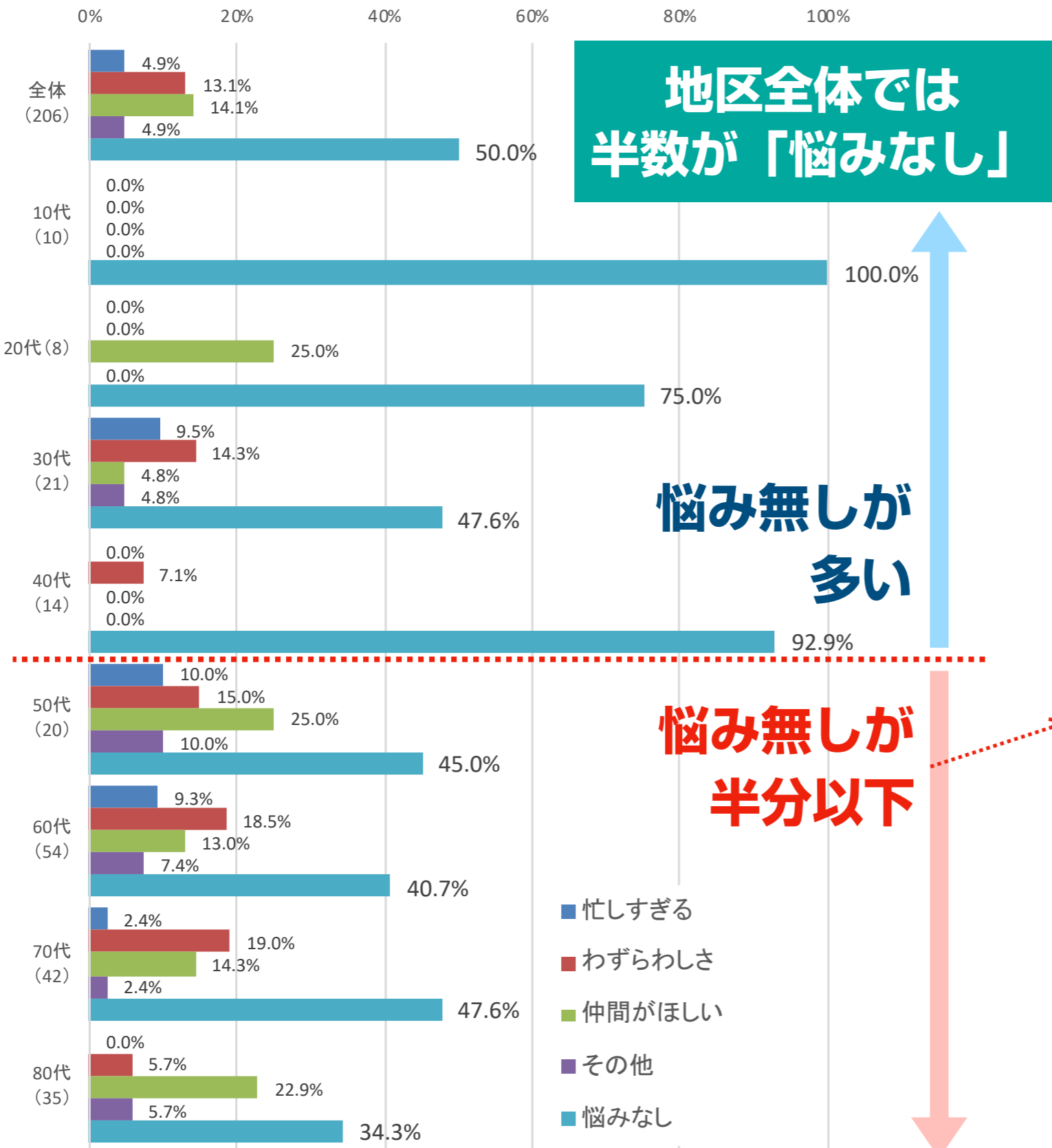
# 休日はいづか？（職業別）

関川村九ヶ谷地区（2020）



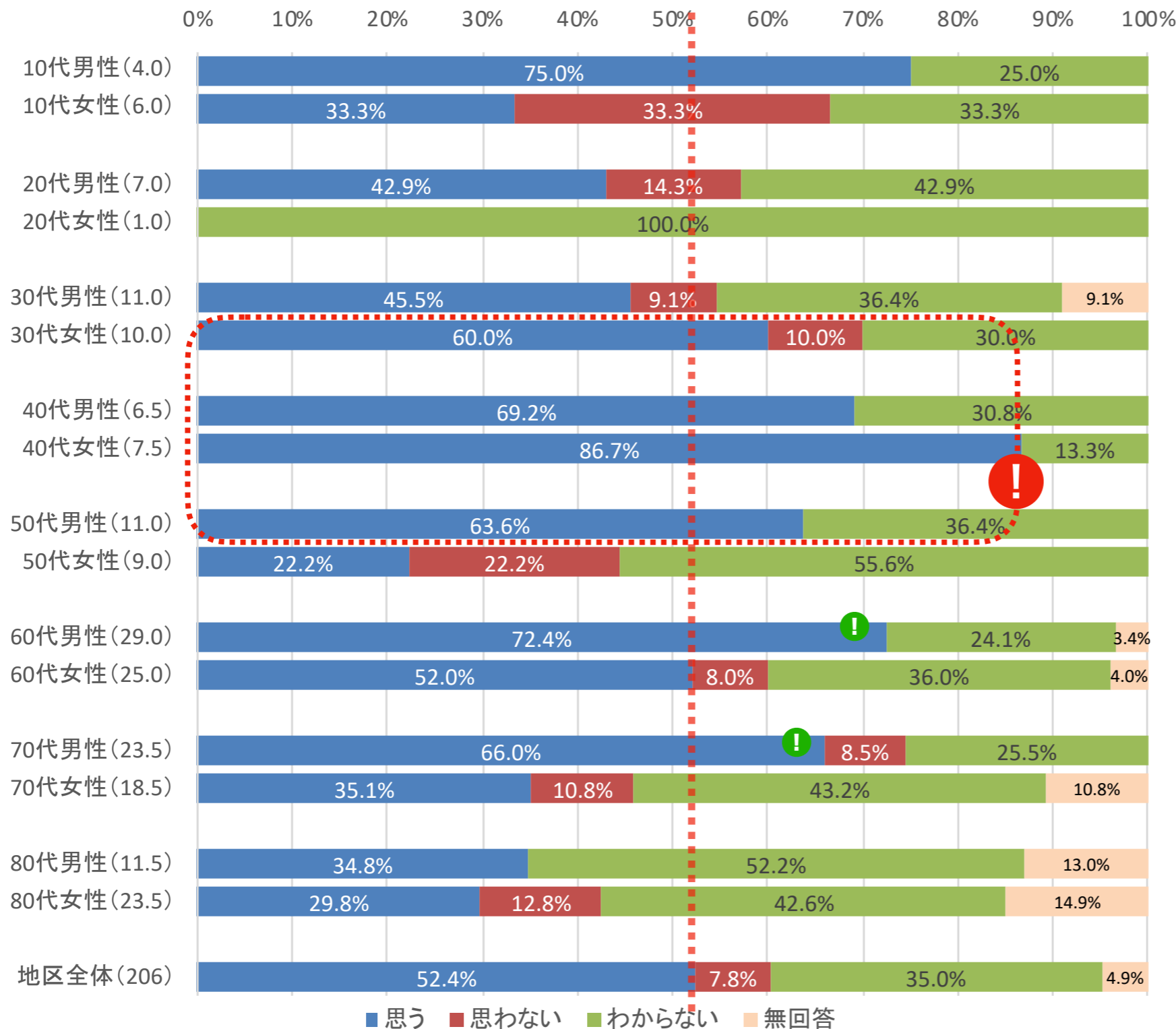
当然、職業によっても休日は異なる → 行事・共同作業の曜日設定に配慮が必要

# 近所づきあいでの悩み / 会議出席・役員経験の有無 (年代別)



「悩み無しの低さ」と「役員経験ありの高さ」は相関関係!?

# 女性・若者の声を反映する必要性 (年代別×男女別) 関川村九ヶ谷地区 (2020)



40代は声を反映すべきの割合がかなり高い

30代女性・50代男性も6割以上が必要と回答

+

60~70代男性も2/3以上が必要と回答

||

お互いにその気はある!

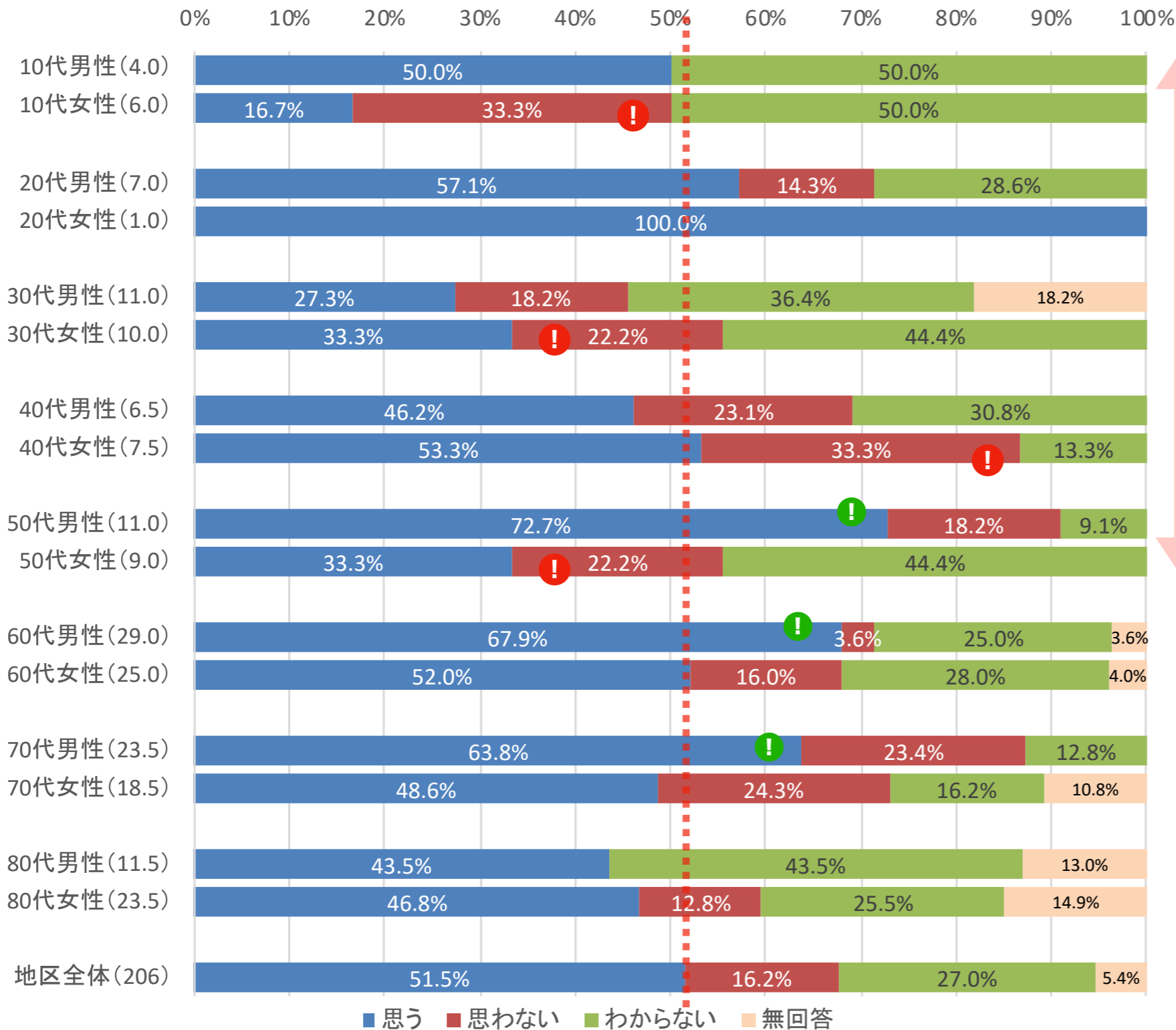


声を反映させる機会の充足・工夫が求められている!

地区全体では、約半数が「必要」と回答。

# 定住受入の必要性 (年代別×男女別)

関川村九ヶ谷地区 (2020)



10・30代は  
あまり肯定的ではない

50代以下の女性は  
2〜3割が疑問を感じている

×

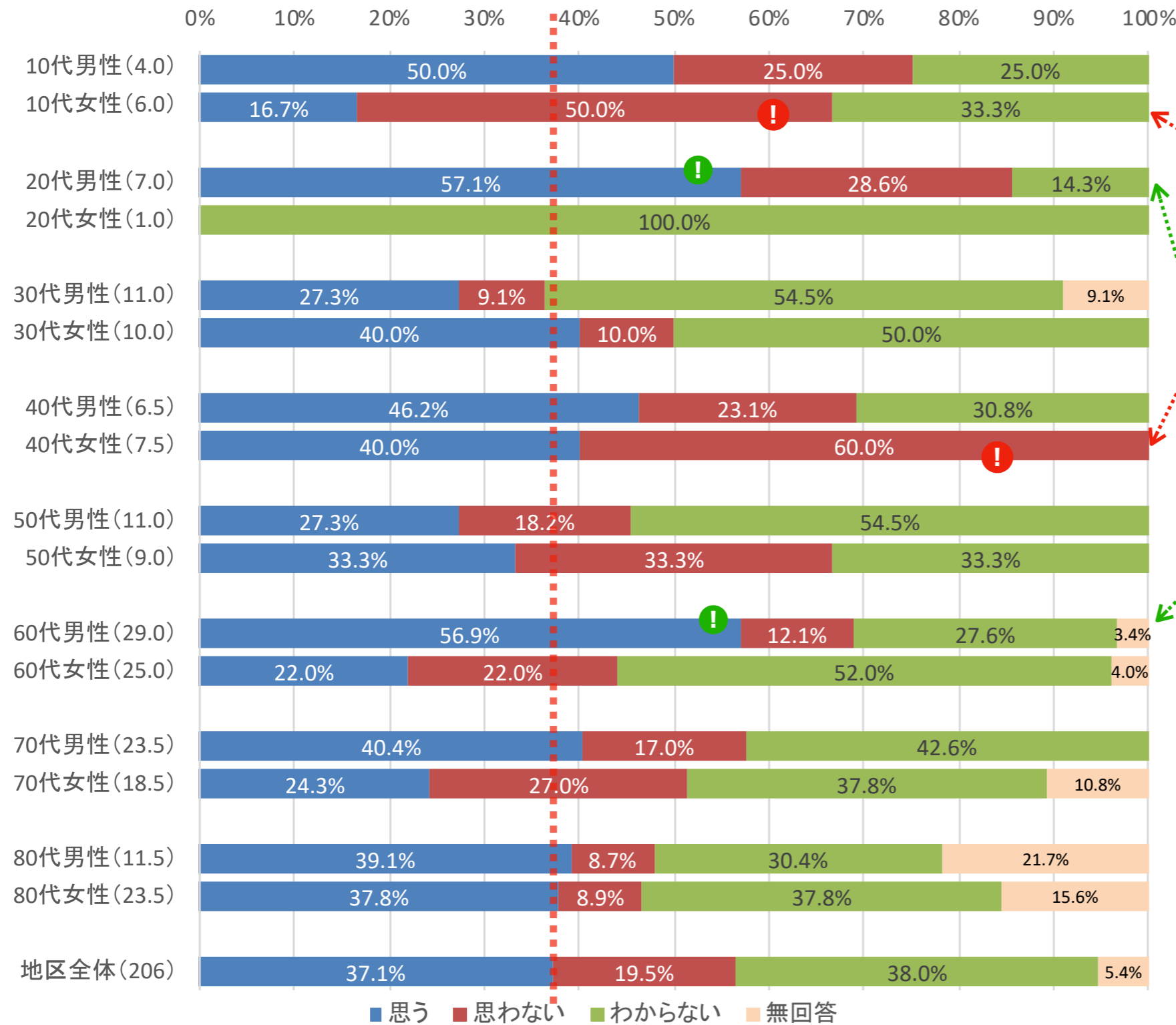
50〜70代男性は  
2/3以上が必要と回答

世代・男女によって  
意向は異なっている。

地区全体では、約半数が「必要」と回答。

# 他地域との交流の必要性 (年代別×男女別)

関川村九ヶ谷地区 (2020)



10代女性・40代女性は半数以上が否定的

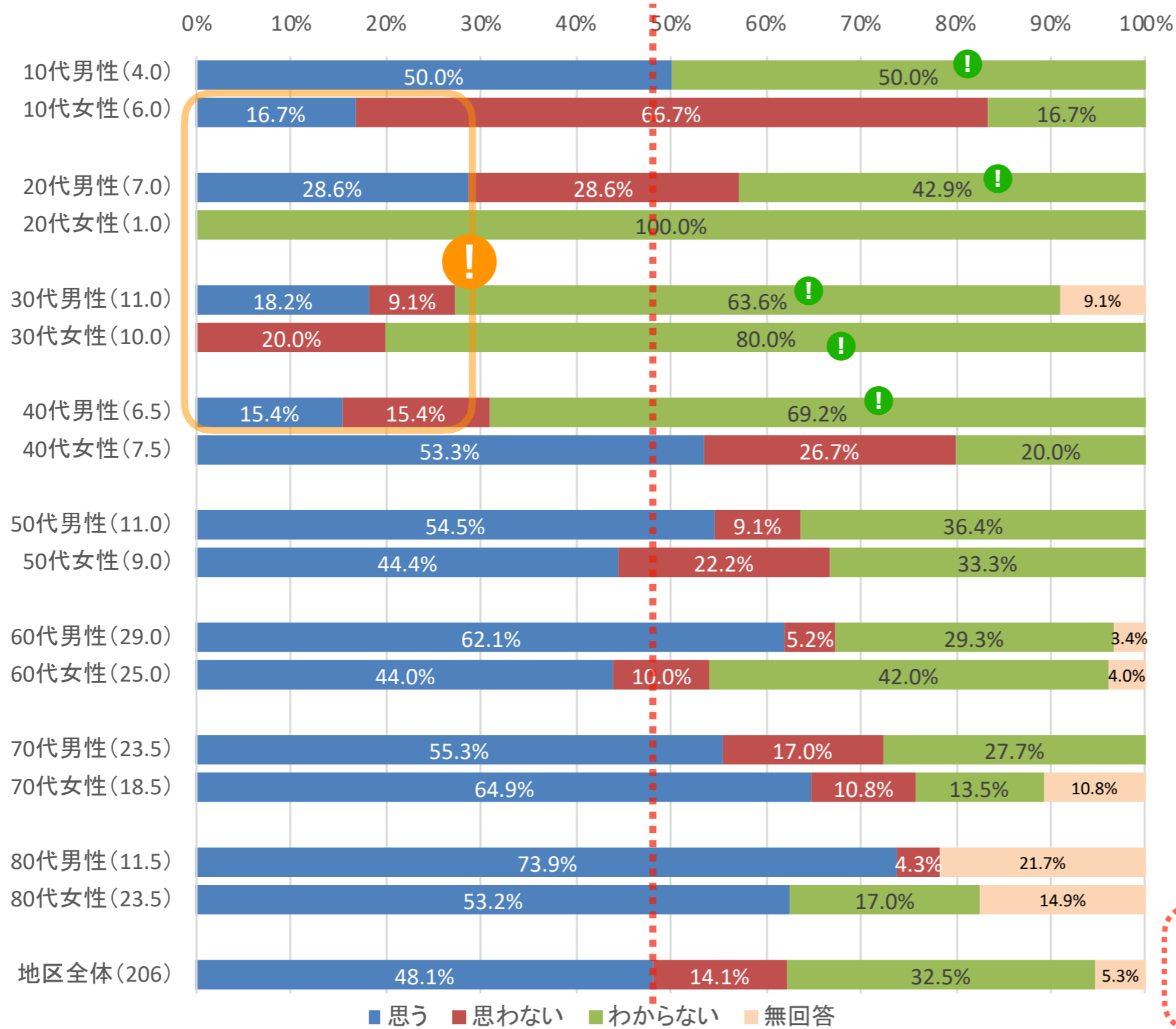


20代男性・60代男性は半数以上が必要と回答

世代・男女によって  
意向は大きく  
異なっている。

地区全体では、「わからない」と「必要」がほぼ同じ割合。

# この地域に住み続けたいと思うか？ (年代別×男女別) 関川村九ヶ谷地区 (2020)



10~40代は  
地区平均より低い

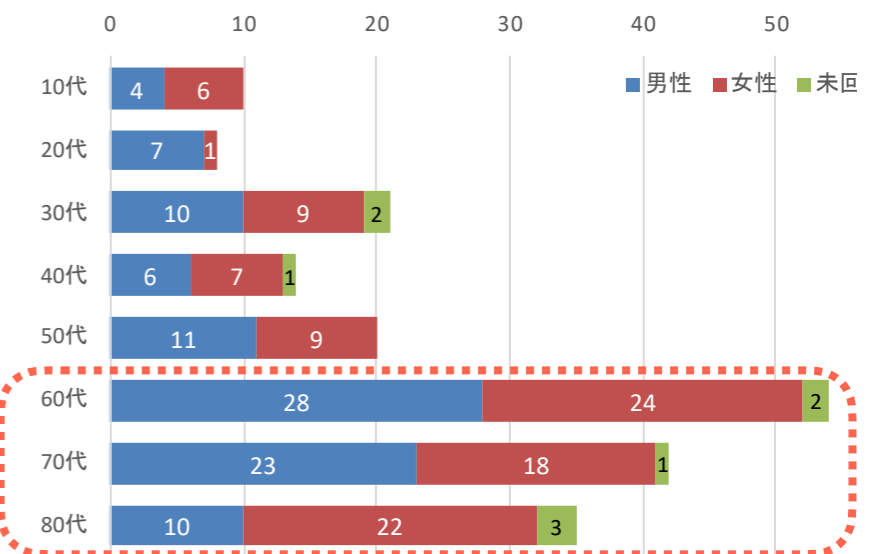
+

4~8割が  
わからないと回答

||

これからの取り組み次第！

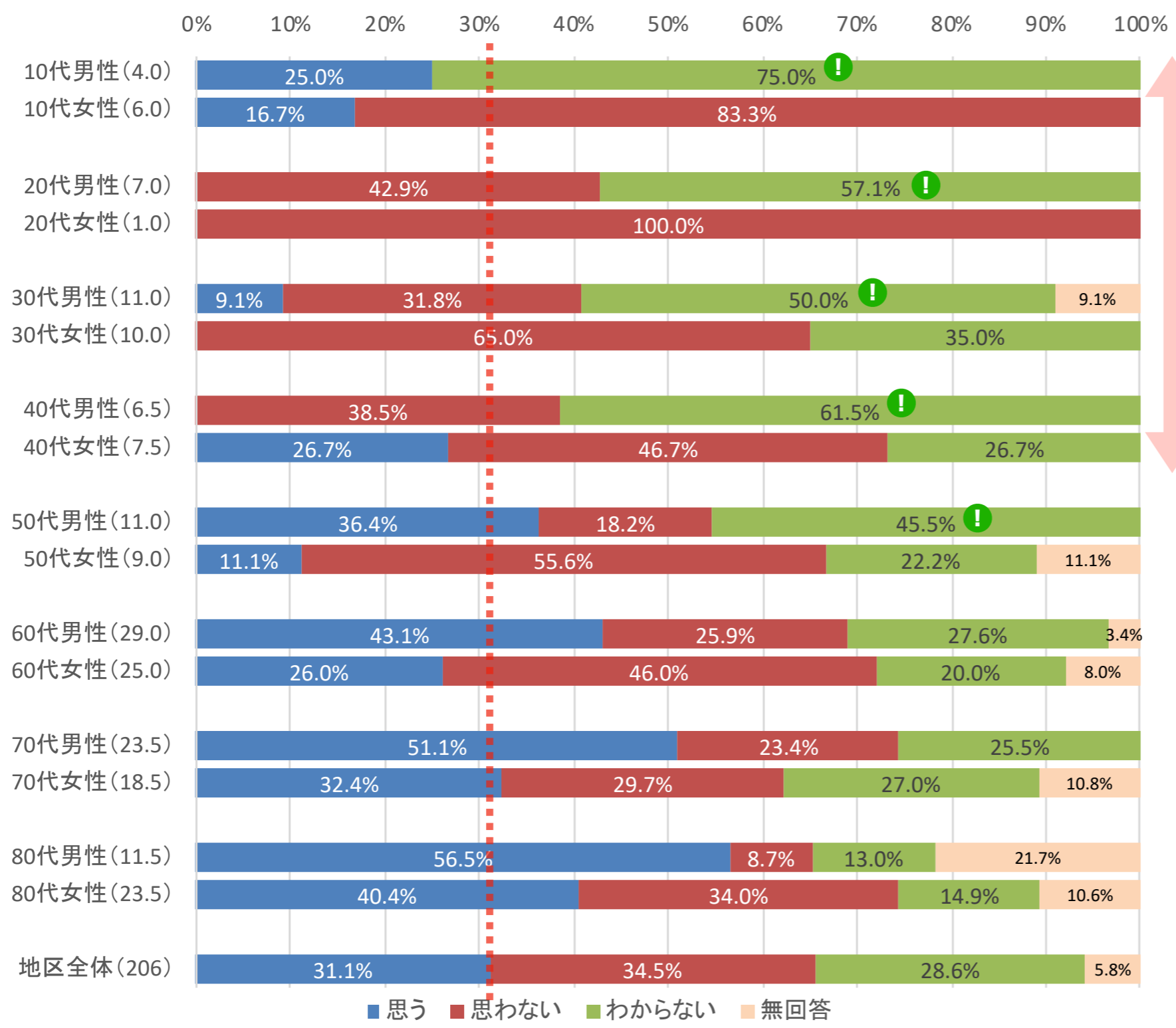
## 回答者属性 (年代構成)



地区全体では「住み続けたいと思う」は約半数

多数派の意見が色濃く  
反映された結果

# 自分の子どもにも住み続けてほしいと思うか？ (年代別×男女別)



40代以下は、  
住み続けてほしい  
とは思わない  
の割合がかなり高い！

すべての年代で  
女性は「思わない」の割合が  
高い。この理由は一体なに？

50代以下の男性は  
4～7割がわからない

||  
これからの取り組み次第！

地区全体では「住み続けてほしい」は3割  
住み続けてほしいと思わないが最も高い

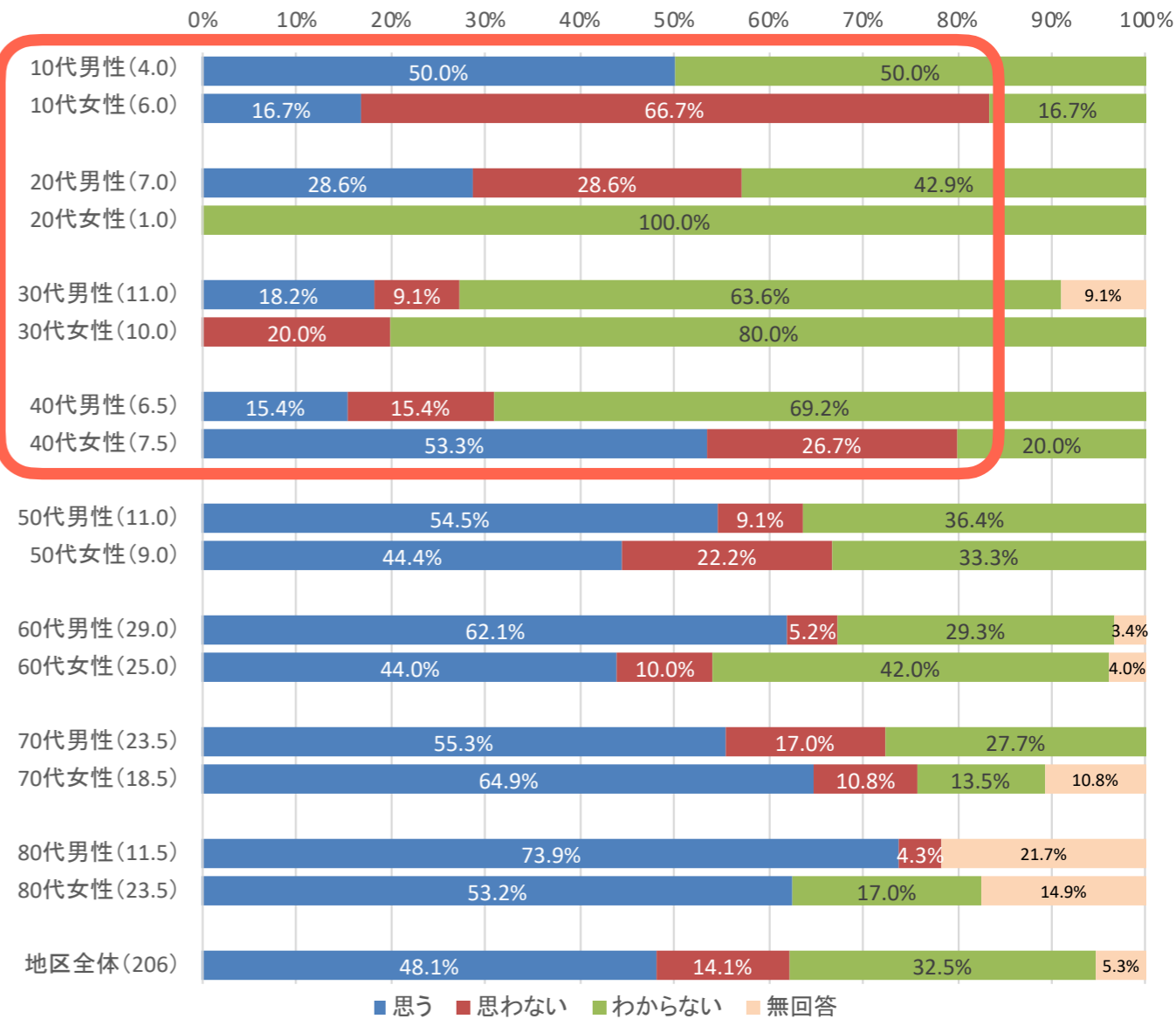
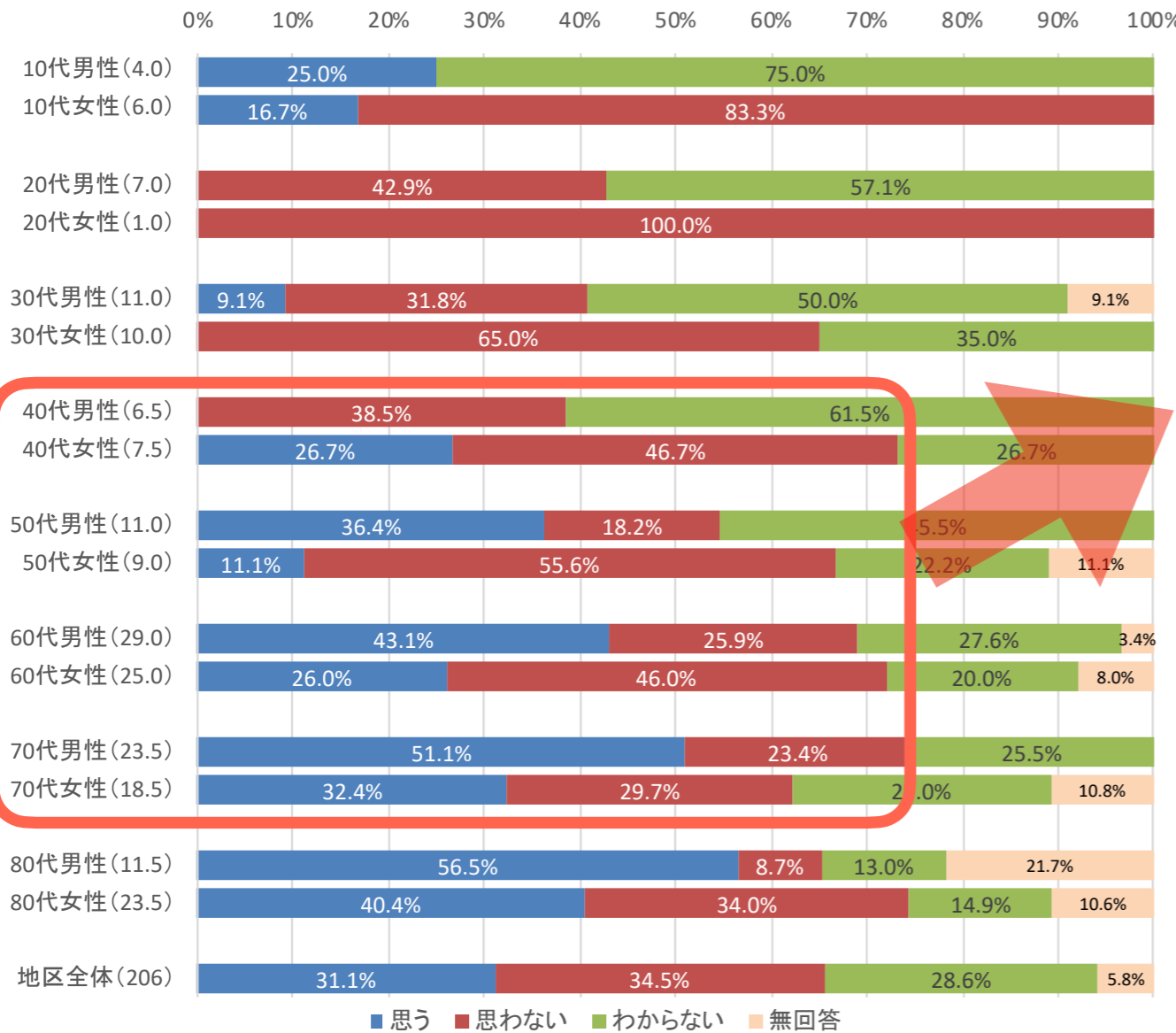


親世代（40～70代／特に女性）は「住み続けてほしいとは思わない」の割合が高い

子ども世代（10～40代）は「住み続けたい」が地区平均以下

自分の子どもにも住み続けてほしいと思うか？（年代別×男女別）

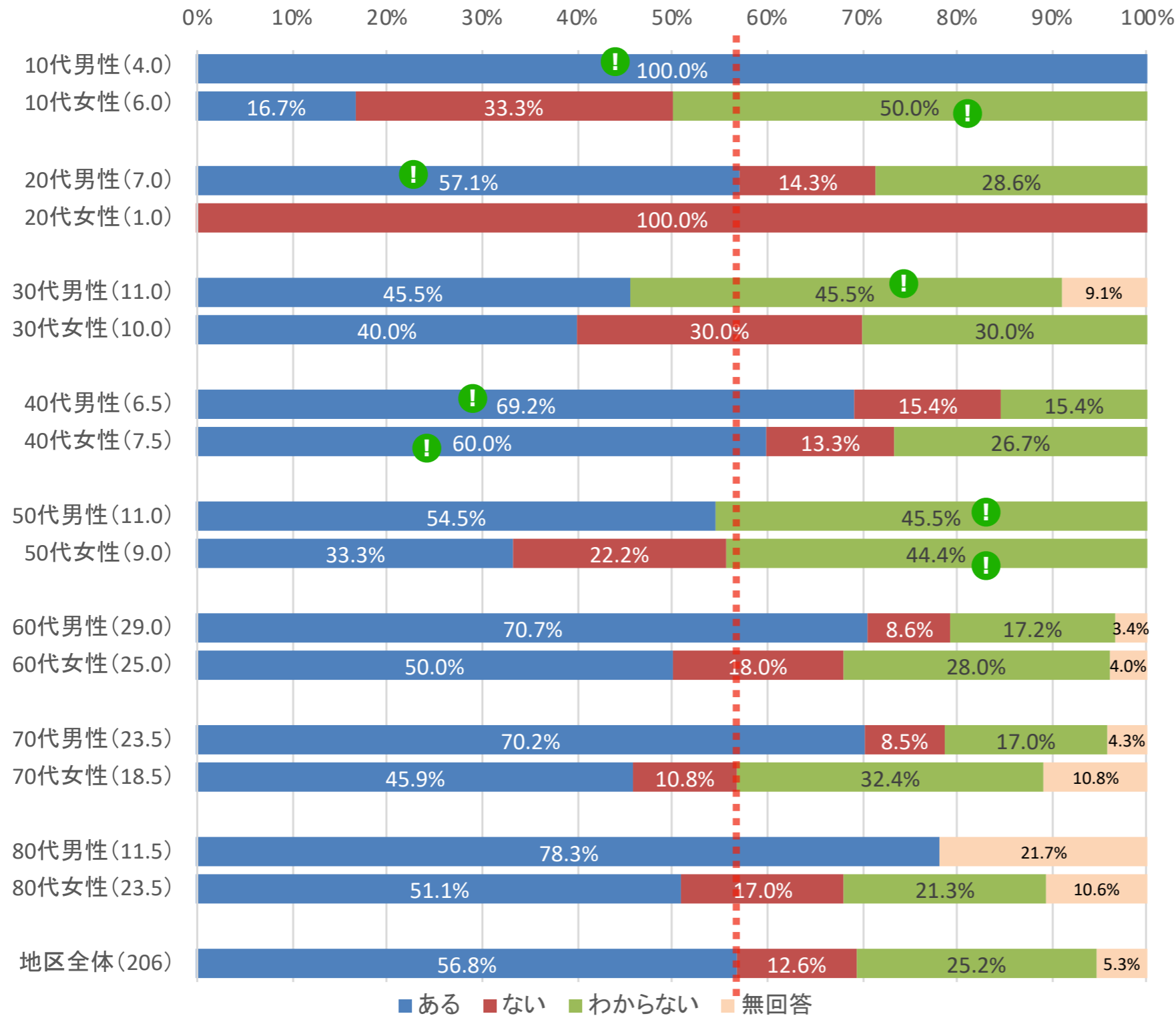
この地域に住み続けたいと思うか？（年代別×男女別）



親世代の意向が、子世代に影響していませんか!?

# 地域への愛着の有無 (年代別×男女別)

関川村九ヶ谷地区 (2020)



50代以下の愛着度は低い訳ではない

+

わからないという回答も4~5割

||

これからの取り組み次第!

愛着はあっても定住意向が低いのは...



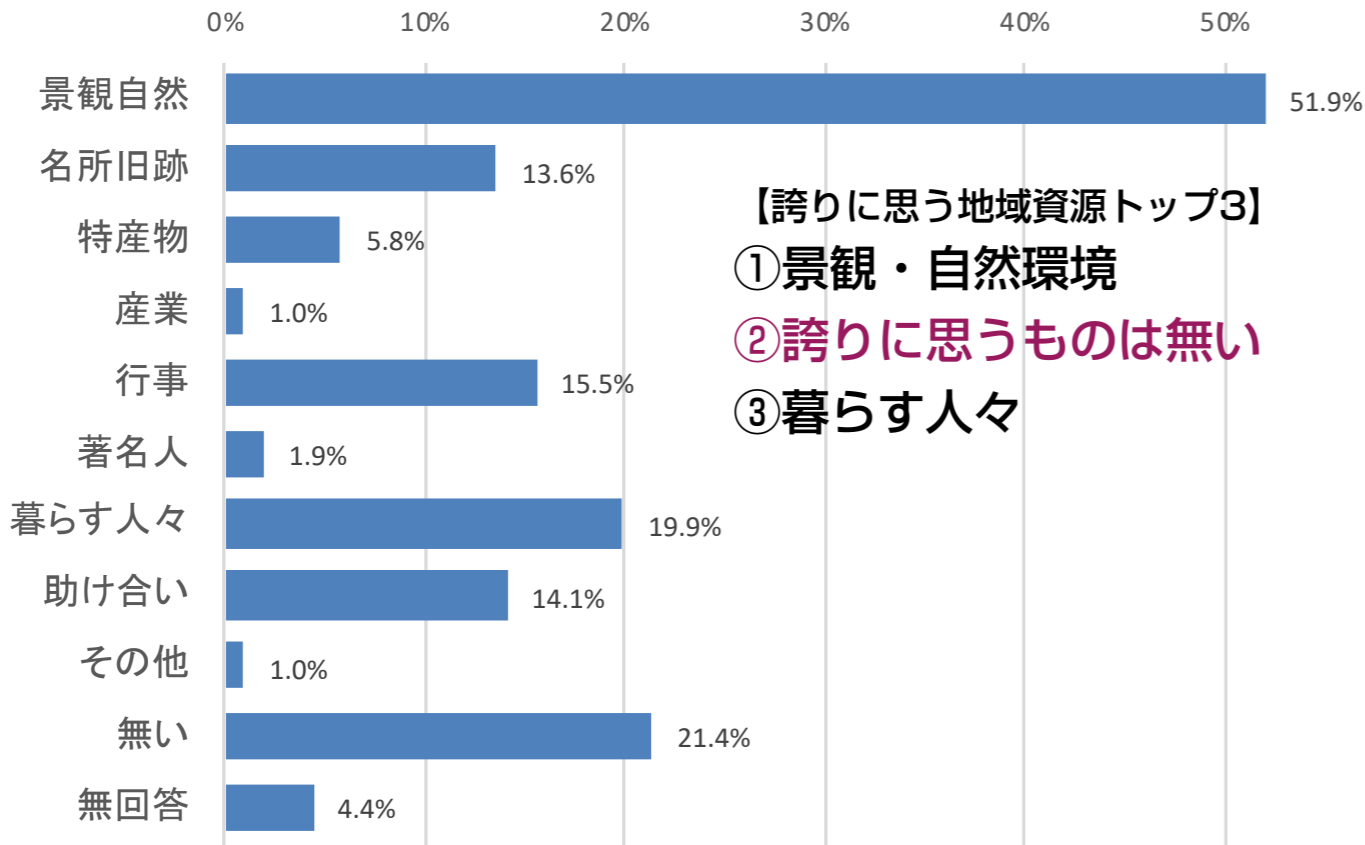
将来への希望・安心感が足りない!?

「愛着がある」が半数以上

# 誇りに思う地域資源は何か (10~40代)

関川村九ヶ谷地区 (2020)

## 地区全体 (複数回答)



### 【誇りに思う地域資源トップ3】

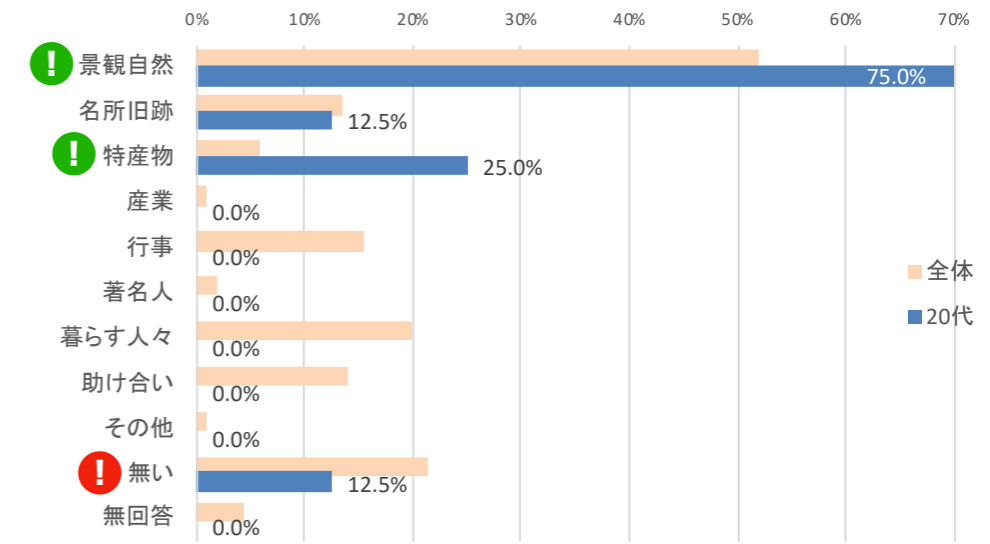
- ① 景観・自然環境
- ② 誇りに思うものは無い
- ③ 暮らす人々

! 地区平均よりも5%以上高い項目

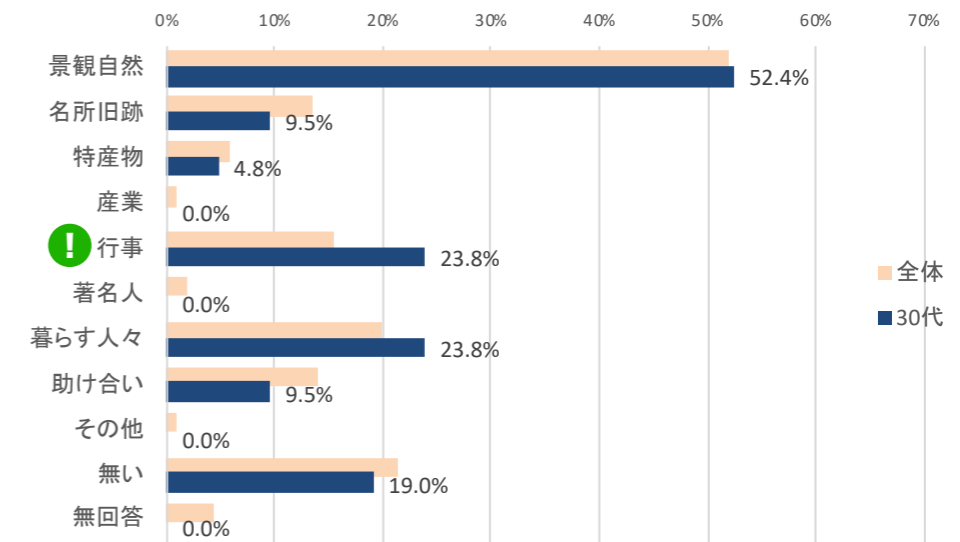
! 地区平均よりも5%以上低い項目

世代によっても誇りに思うところの資源は違う

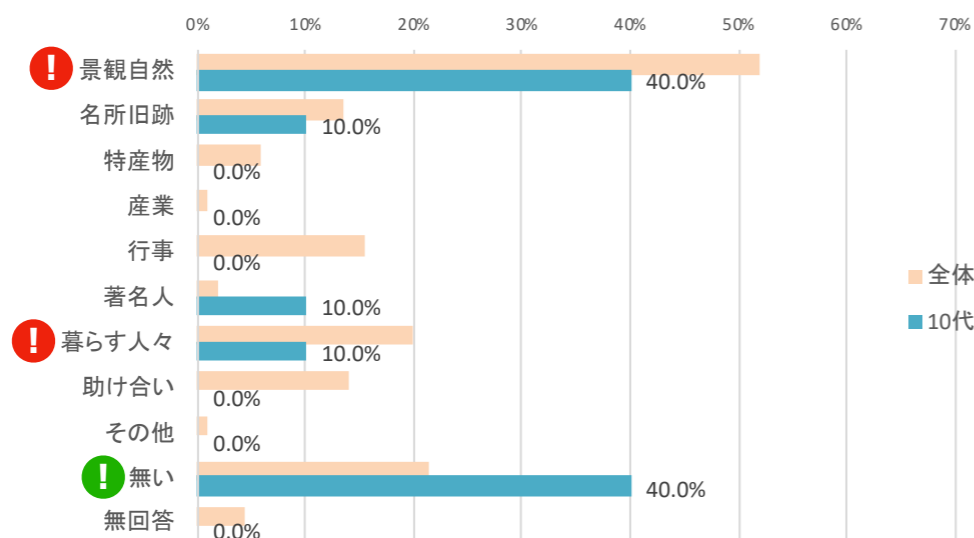
20代



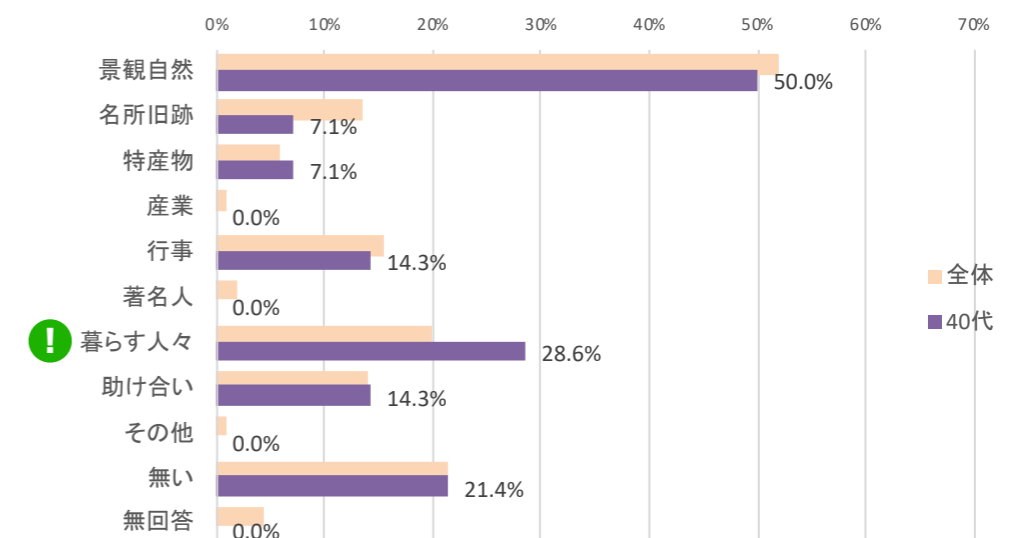
30代



10代



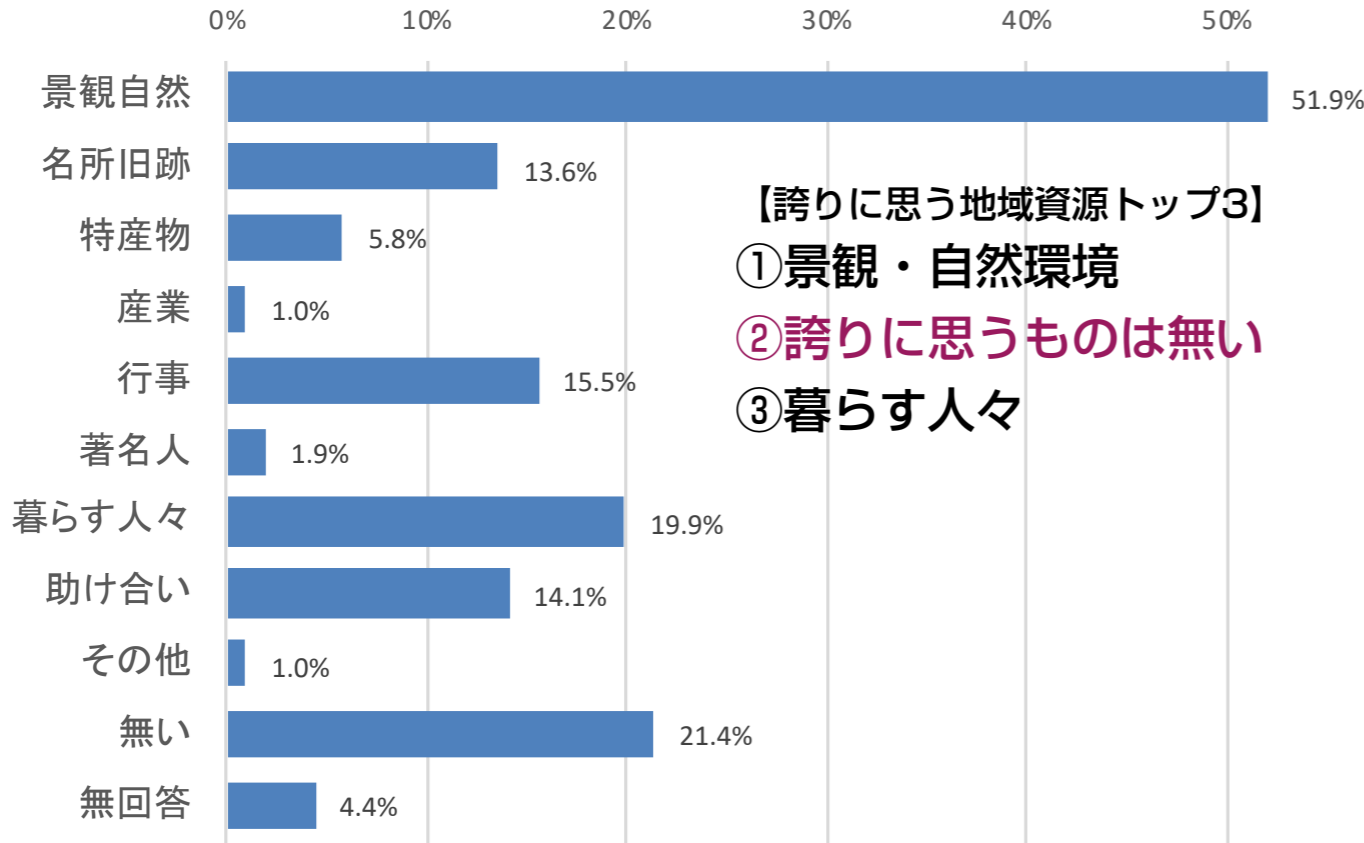
40代



# 誇りに思う地域資源は何か (50代~)

関川村九ヶ谷地区 (2020)

## 地区全体 (複数回答)



### 【誇りに思う地域資源トップ3】

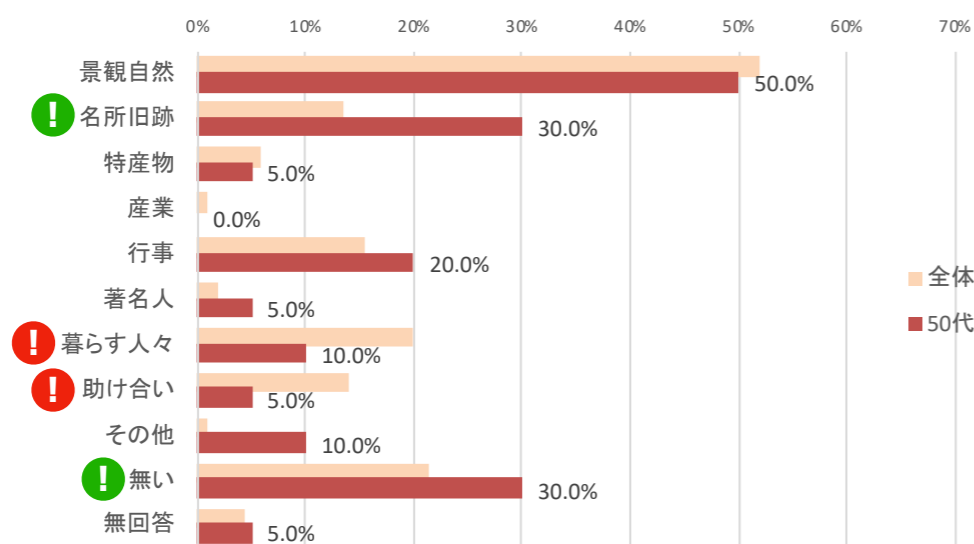
- ① 景観・自然環境
- ② 誇りに思うものは無い
- ③ 暮らす人々

! 地区平均よりも5%以上高い項目

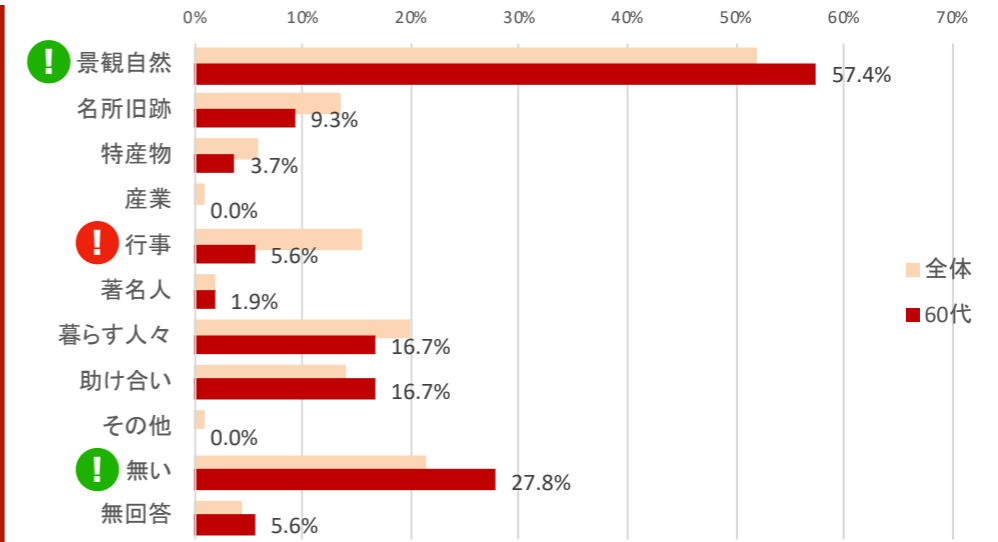
! 地区平均よりも5%以上低い項目

世代によっても誇りに思う資源は違う

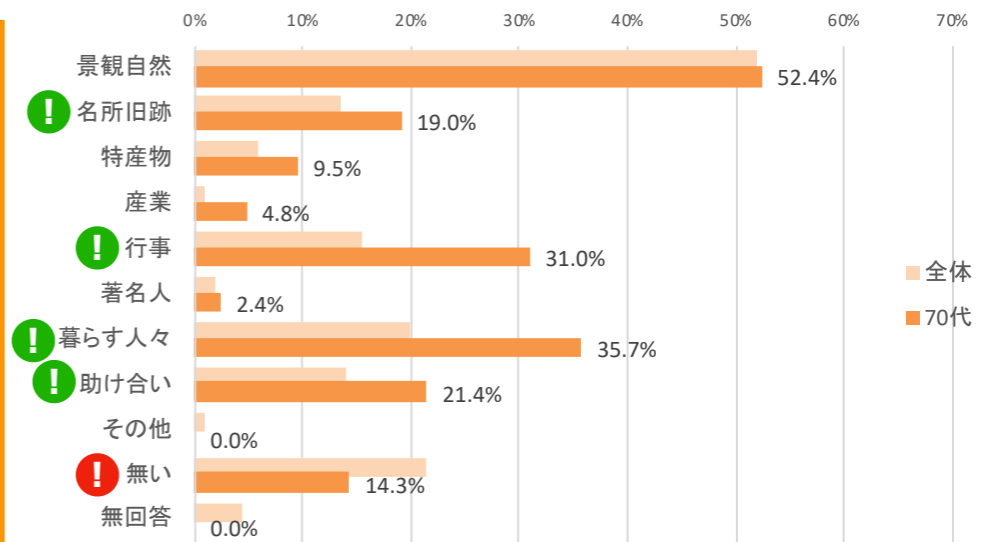
## 50代



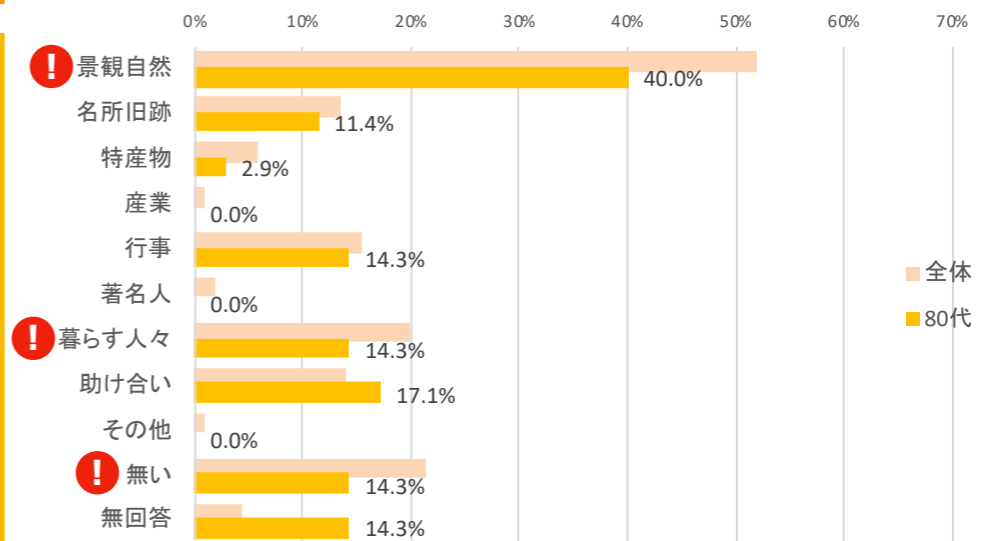
## 60代



## 70代

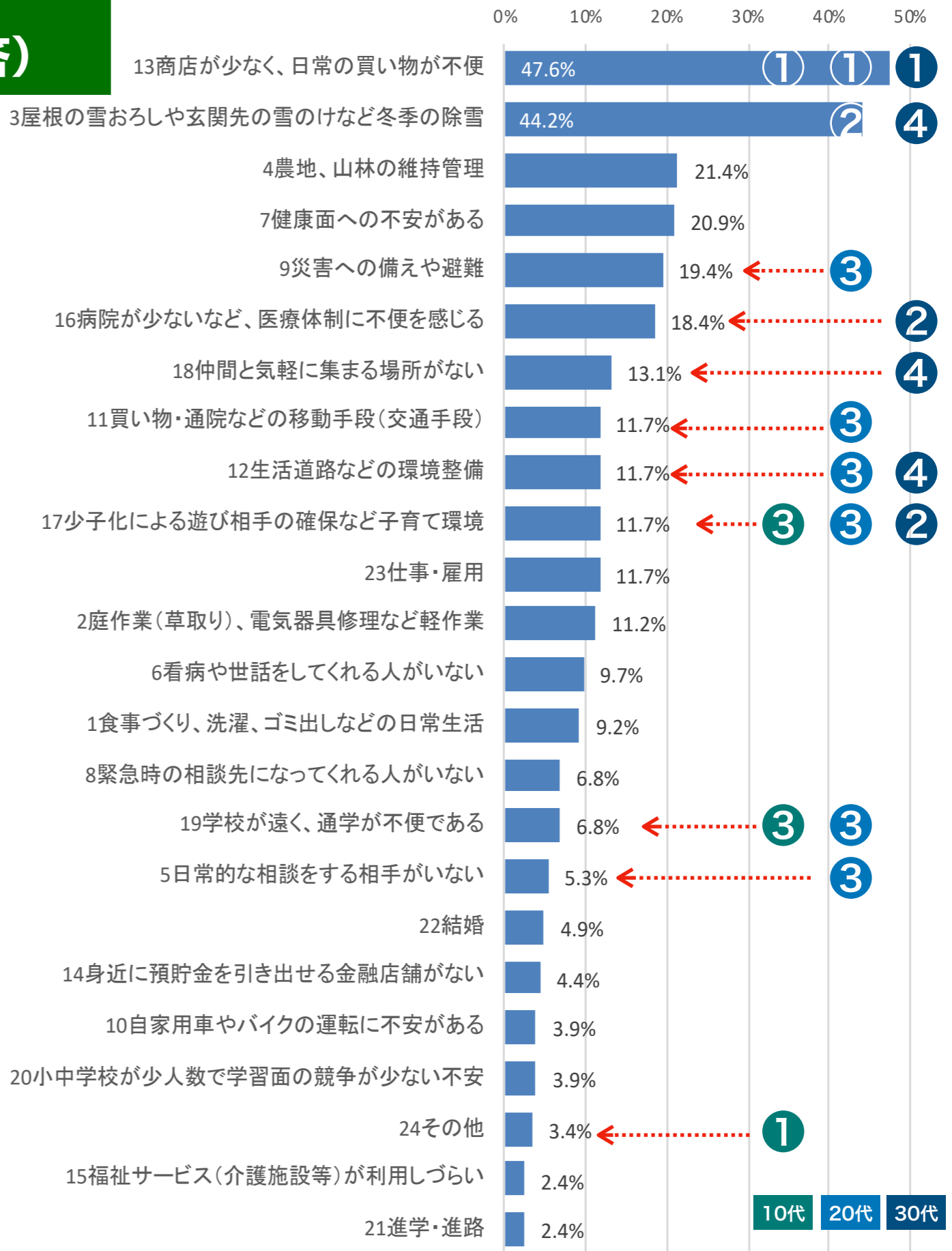


## 80代



# 暮らしの中の困りごと (複数回答)

10代		
1	商店が少なく、日常の買い物が不便	30.0%
	その他	
3	学校が遠く、通学が不便である	20.0%
	少子化による遊び相手の確保など子育て環境	
20代		
1	商店が少なく、日常の買い物が不便	50.0%
2	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	37.5%
3	災害への備えや避難	12.5%
	少子化による遊び相手の確保など子育て環境	
	日常的な相談をする相手がない	
	買い物・通院などの移動手段(交通手段)	
	生活道路などの環境整備	
	学校が遠く、通学が不便である	
30代		
1	商店が少なく、日常の買い物が不便	42.9%
2	少子化による遊び相手の確保など子育て環境	28.6%
	病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	
4	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	23.8%
	生活道路などの環境整備	
	仲間と気軽に集まる場所がない	



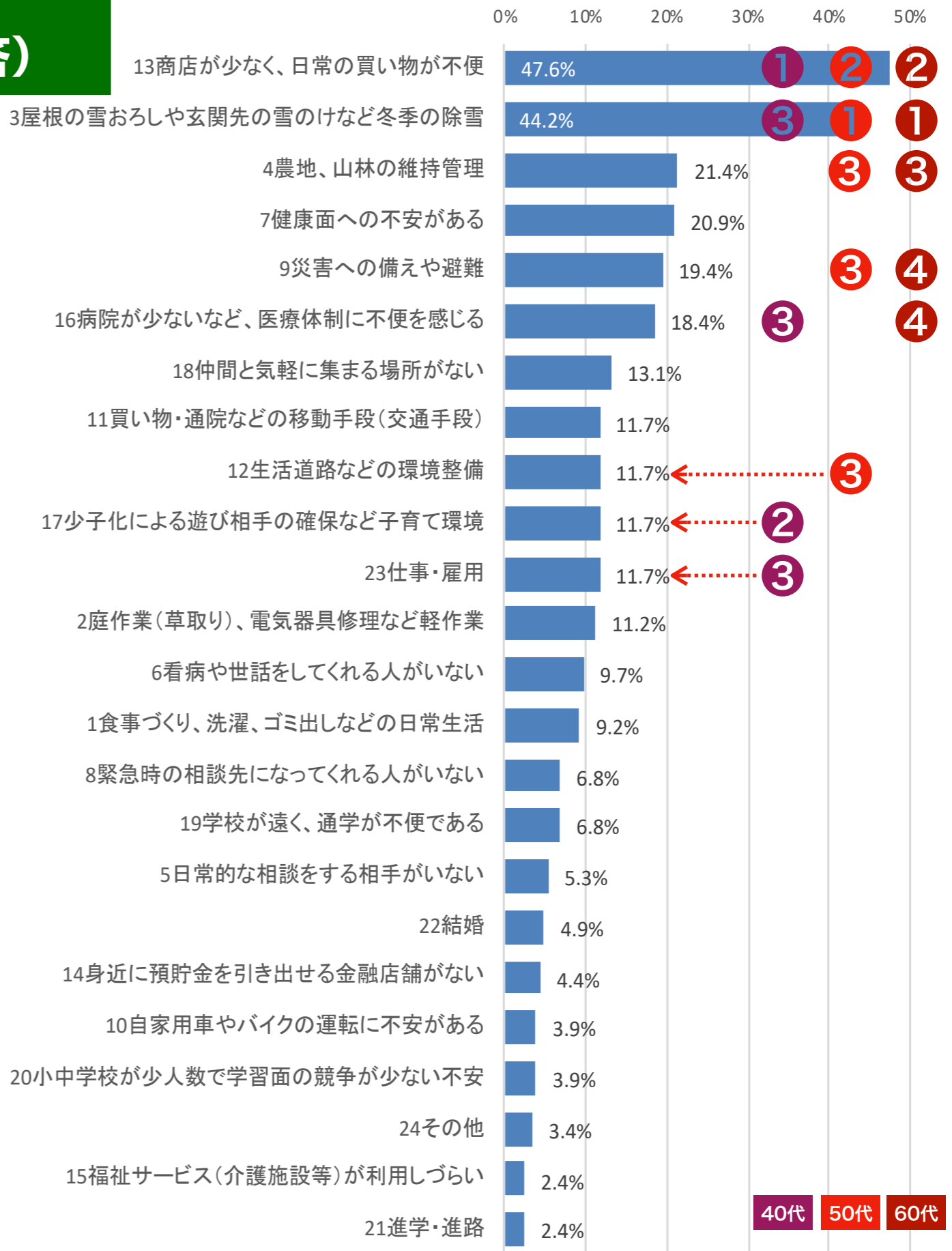
地区全体 (複数回答)

# 暮らしの中の困りごと (複数回答)

40代		
1	商店が少なく、日常の買い物が不便	71.4%
2	少子化による遊び相手の確保など子育て環境	50.0%
3	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	28.6%
	病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	
	仕事・雇用	

50代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	65.0%
2	商店が少なく、日常の買い物が不便	55.0%
3	農地、山林の維持管理	35.0%
	災害への備えや避難	
	生活道路などの環境整備	

60代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	50.0%
2	商店が少なく、日常の買い物が不便	42.6%
3	農地、山林の維持管理	35.2%
4	災害への備えや避難	22.2%
	病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	



地区全体 (複数回答)

# 暮らしの中の困りごと (複数回答)

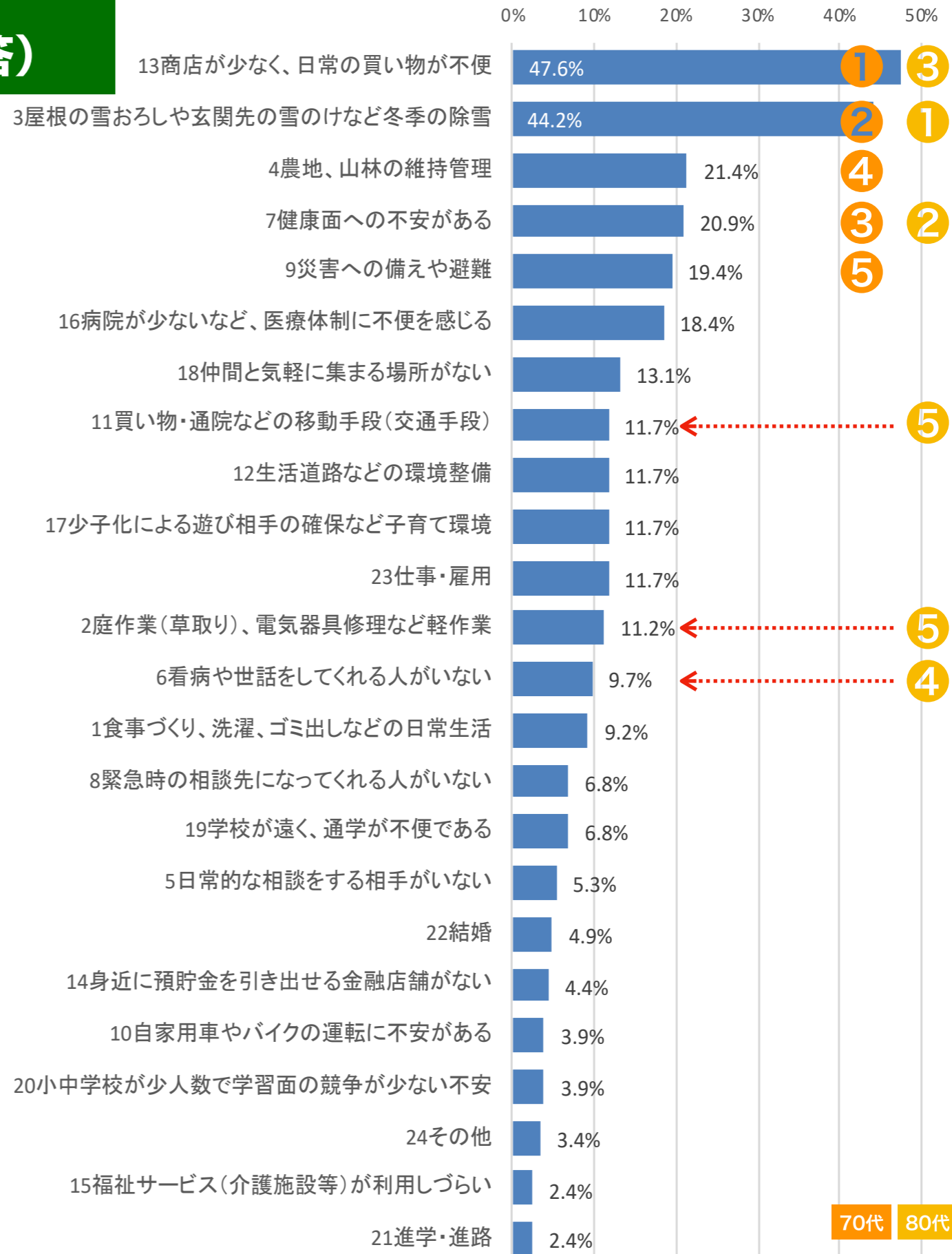
70代

70代	
1	商店が少なく、日常の買い物が不便 57.1%
2	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪 52.4%
3	健康面への不安がある 26.2%
4	農地、山林の維持管理 23.8%
5	災害への備えや避難 21.4%

80代

80代	
1	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪 42.9%
2	健康面への不安がある 40.0%
3	商店が少なく、日常の買い物が不便 37.1%
4	看病や世話をしてくれる人がいない 22.9%
5	買い物・通院などの移動手段(交通手段) 20.0%
	庭作業(草取り)、電気器具修理など軽作業

年代によって不安・困りごとの順番は違う (人数の少ない若年層は特に)



地区全体 (複数回答)

**第1位 商店が少なく、日常の買い物が不便** **47.6%**

すべての世代で上位にランクイン (10~40代、70代ではトップ)

**第2位 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪** **44.2%**

大半の世代で上位にランクイン (50~60代、80代ではトップ)

→60代以下は担い手不足への懸念、70代以上は作業自体への不安?

**第3位 農地や山林の維持管理** **21.4%**

50~70代で上位にランクイン

→実際に管理している世代で上位にランクイン

**第4位 健康面への不安がある** **20.9%**

70代以上で上位にランクイン

**第5位 災害への備えや避難** **19.4%**

20代及び50~70代で上位にランクイン



# 暮らしの中の困りごと (まとめ)

関川村九ヶ谷地区 (2020)

全体での順位は  
高くはないが、  
**高齢世代**  
特有の困りごと

**第8位 買物・通院などの移動手段 (交通手段) 11.7%**

【80代】 第5位 →自らの移動手段で困っている?!

**第12位 庭作業 (草取り)、電気器具修理など軽作業 11.2%**

【80代】 第5位 →日常生活でのちょっとした手助けを求めている現れ!?

**第6位 病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる 18.4%**

【30代】 第2位 【40代】 第3位 【60代】 第4位

→子ども及び高齢者医療に対する不安感を感じている?!

**第8位 少子化による遊び相手の確保など子育て環境 11.7%**

【10代】 第3位 【20代】 第3位 【30代】 第2位 【40代】 第2位

**第8位 仕事・雇用 11.7%**

【40代】 第3位

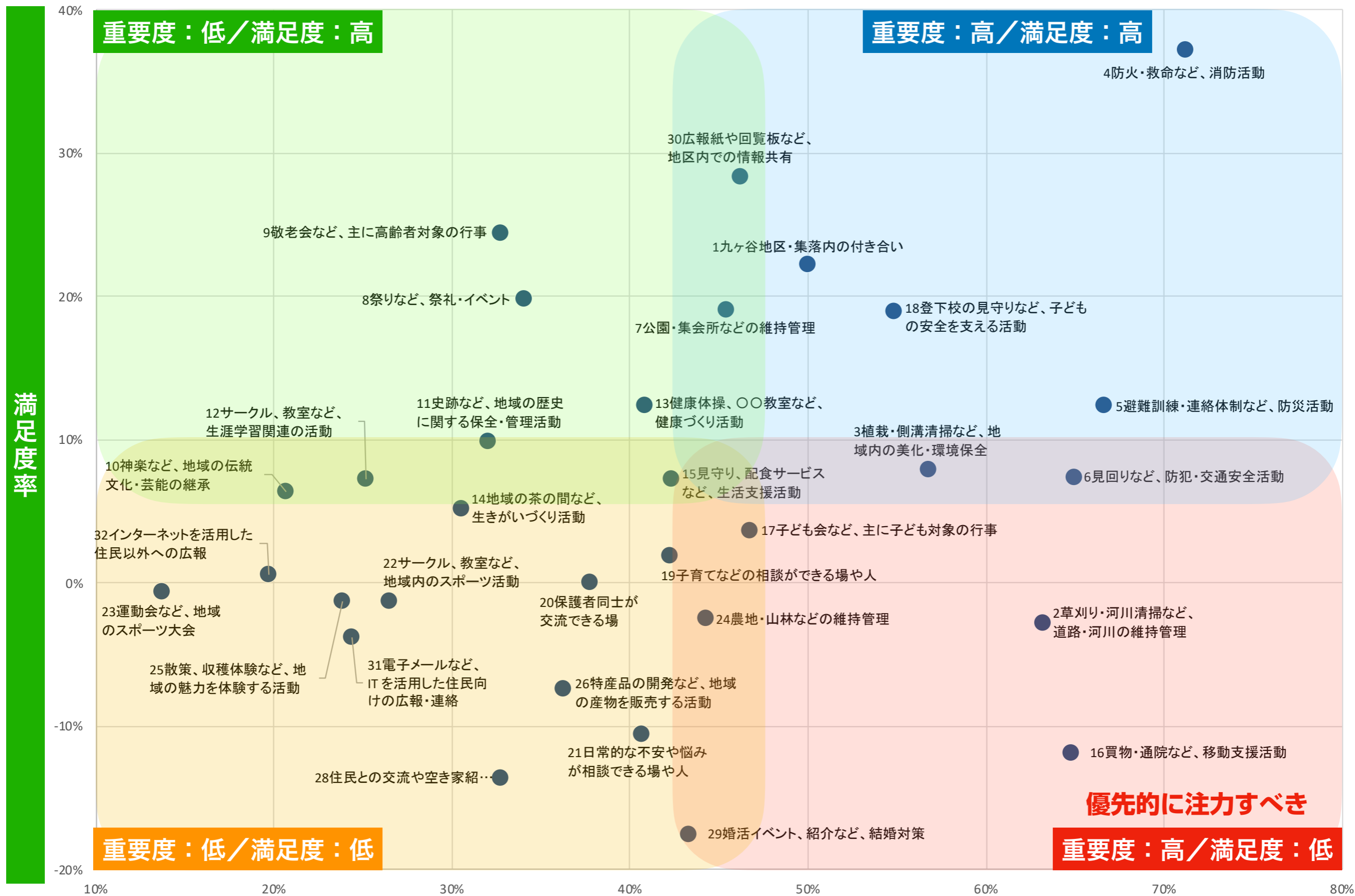
**第15位 学校が遠く、通学が不便である 6.8%**

【10代】 第3位

全体での順位は  
高くはないが、  
**若年・中堅  
世代**  
特有の困りごと

# 取り組みの満足度と重要度

関川村九ヶ谷地区 (2020)

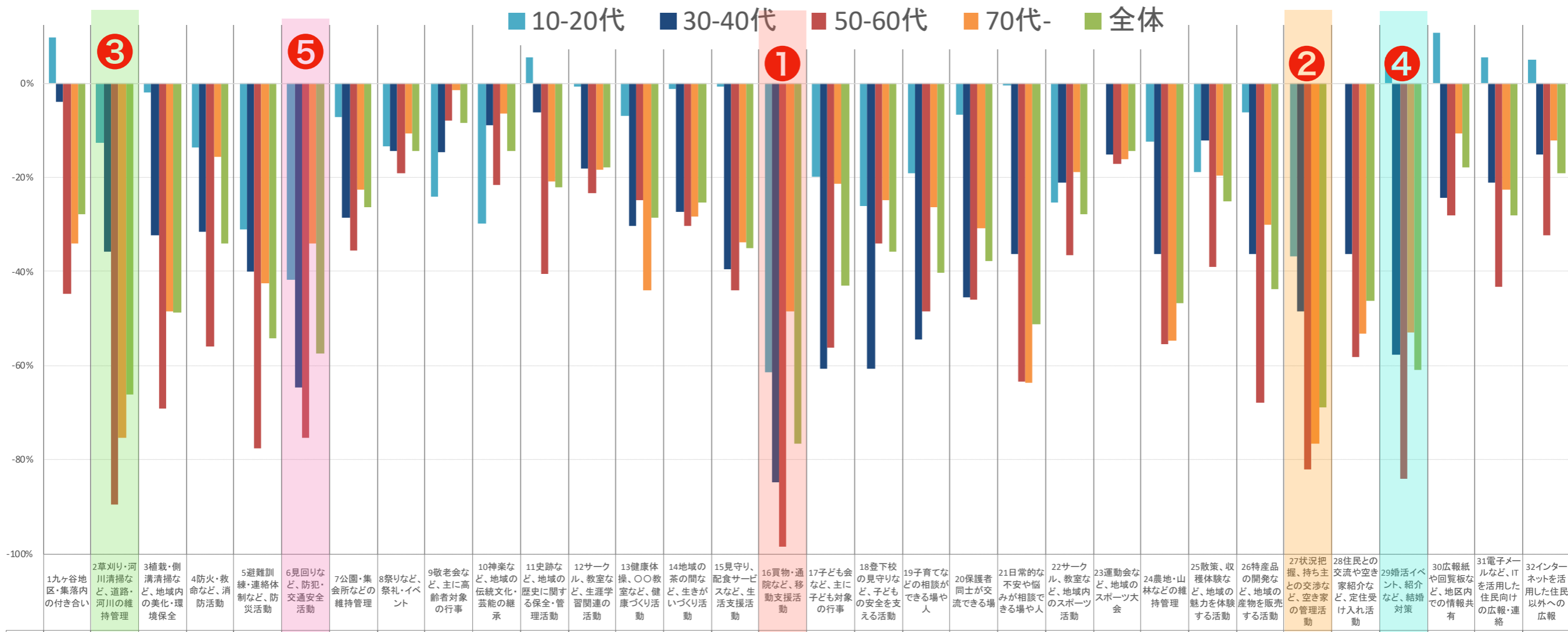


重要度率

# 取り組みの満足度と重要度の評価（年代別）

関川村九ヶ谷地区（2020）

※グラフが下に伸びているほど、満足度と重要度のギャップがある（＝現状では満足しておらず、これからは重要だと思う）項目



**1** 買物・通院など、  
**移動支援**活動

**2** 状況把握、持ち主との交渉など  
**空家の管理**活動

**3** 草刈り・河川清掃など  
**道路・河川の維持管理**

**4** 婚活イベント、紹介など、**結婚**対策

**5** 見回りなど  
**防犯・交通安全**活動

若年 > 壮年

若年 < 壮年

若年 < 壮年

若年 < 壮年

若年 > 壮年

◎将来を見据え、これから重点的に取り組むべきだと考えられている上位5つ

### これからの地域づくりで大切だと思っているテーマ・年代別ランキング（上位）

	全体	10-20代	30-40代	50-60代	70代-
1	16買物・通院など、移動支援活動 -76.6%	16買物・通院など、移動支援活動 -61.4%	16買物・通院など、移動支援活動 -84.8%	16買物・通院など、移動支援活動 -98.5%	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -76.5%
2	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -68.8%	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -41.8%	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -64.7%	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -89.6%	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -75.4%
3	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -66.0%	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -36.8%	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -60.6%	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -84.0%	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -63.5%
4	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -60.8%	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -31.0%	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -60.6%	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -82.0%	24農地・山林などの維持管理 -54.7%
5	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -57.5%	10神楽など、地域の伝統文化・芸能の継承 -29.7%	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -57.6%	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -77.7%	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -53.3%
6	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -54.3%	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -26.1%	19子育てなどの相談ができる場や人 -54.5%	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -75.4%	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -53.0%
7	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -51.1%	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -25.4%	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -48.5%	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -69.1%	16買物・通院など、移動支援活動 -48.6%
8	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -48.9%	9敬老会など、主に高齢者対象の行事 -24.2%	20保護者同士が交流できる場 -45.5%	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -68.0%	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -48.5%
9	24農地・山林などの維持管理 -46.8%	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -19.9%	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -40.0%	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -63.3%	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動 -44.0%
10	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -46.3%	19子育てなどの相談ができる場や人 -19.1%	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -39.4%	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -58.1%	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -42.6%
11	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -43.7%	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -18.8%	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -36.4%	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -56.3%	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -34.1%
12	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -43.1%	4防火・救命など、消防活動 -13.7%	24農地・山林などの維持管理 -36.4%	4防火・救命など、消防活動 -55.9%	1九ヶ谷地区・集落内の付き合い -34.0%
13	19子育てなどの相談ができる場や人 -40.3%	8祭りなど、祭礼・イベント -13.4%	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -36.4%	24農地・山林などの維持管理 -55.4%	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -33.9%
14	20保護者同士が交流できる場 -37.7%	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -12.7%	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -36.4%	19子育てなどの相談ができる場や人 -48.4%	20保護者同士が交流できる場 -30.7%
15	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -35.9%	24農地・山林などの維持管理 -12.5%	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -35.7%	20保護者同士が交流できる場 -46.1%	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -30.1%
16	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -35.1%	7公園・集会所などの維持管理 -7.2%	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -32.4%	1九ヶ谷地区・集落内の付き合い -44.7%	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動 -28.2%

各年代が重視する  
テーマの特徴

防災／伝統芸能／  
子どもの安全

子どもの安全  
子ども向け行事

防災／環境の美化保全  
／特産品

農地山林の維持管理  
日常的な相談

# 取り組みの満足度と重要度の評価 (年代別)

関川村九ヶ谷地区 (2020)

## これからの地域づくりで大切だと思っているテーマ・年代別ランキング (下位)

	全体		10-20代		30-40代		50-60代		70代-	
17	4防火・救命など、消防活動	-34.0%	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動	-7.0%	4防火・救命など、消防活動	-31.4%	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動	-44.0%	19子育てなどの相談ができる場や人	-26.4%
18	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動	-28.5%	20保護者同士が交流できる場	-6.6%	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動	-30.3%	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡	-43.2%	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動	-24.9%
19	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡	-28.2%	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動	-6.3%	7公園・集会所などの維持管理	-28.6%	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動	-40.6%	7公園・集会所などの維持管理	-22.7%
20	1九ヶ谷地区・集落内の付き合い	-27.8%	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全	-2.0%	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動	-27.3%	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動	-39.1%	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡	-22.6%
21	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動	-27.7%	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動	-1.1%	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有	-24.2%	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動	-36.5%	17子ども会など、主に子ども対象の行事	-21.4%
22	7公園・集会所などの維持管理	-26.3%	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動	-0.7%	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動	-21.2%	7公園・集会所などの維持管理	-35.4%	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動	-20.9%
23	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動	-25.3%	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動	-0.7%	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡	-21.2%	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動	-34.1%	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動	-19.7%
24	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動	-25.1%	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人	-0.4%	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動	-18.2%	32インターネットを活用した住民以外への広報	-32.4%	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動	-18.8%
25	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動	-22.1%	23運動会など、地域のスポーツ大会	0.0%	23運動会など、地域のスポーツ大会	-15.2%	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動	-30.3%	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動	-18.3%
26	32インターネットを活用した住民以外への広報	-19.1%	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動	0.0%	32インターネットを活用した住民以外への広報	-15.2%	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有	-28.2%	23運動会など、地域のスポーツ大会	-16.1%
27	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有	-17.9%	32インターネットを活用した住民以外への広報	5.1%	9敬老会など、主に高齢者対象の行事	-14.7%	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動	-24.8%	4防火・救命など、消防活動	-15.6%
28	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動	-17.8%	29婚活イベント、紹介など、結婚対策	5.5%	8祭りなど、祭礼・イベント	-14.3%	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動	-23.4%	32インターネットを活用した住民以外への広報	-12.1%
29	23運動会など、地域のスポーツ大会	-14.4%	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡	5.5%	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動	-12.1%	10神楽など、地域の伝統文化・芸能の継承	-21.5%	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有	-10.6%
30	10神楽など、地域の伝統文化・芸能の継承	-14.3%	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動	5.5%	10神楽など、地域の伝統文化・芸能の継承	-8.8%	8祭りなど、祭礼・イベント	-19.1%	8祭りなど、祭礼・イベント	-10.5%
31	8祭りなど、祭礼・イベント	-14.3%	1九ヶ谷地区・集落内の付き合い	9.8%	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動	-6.1%	23運動会など、地域のスポーツ大会	-17.2%	10神楽など、地域の伝統文化・芸能の継承	-6.4%
32	9敬老会など、主に高齢者対象の行事	-8.3%	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有	10.7%	1九ヶ谷地区・集落内の付き合い	-3.9%	9敬老会など、主に高齢者対象の行事	-7.8%	9敬老会など、主に高齢者対象の行事	-1.5%

行事・イベント < 地域課題の解決 という意識の現れ?!

◎将来を見据え、これから重点的に取り組むべきだと考えられている項目上位5つ

## ①買物・通院など、移動支援活動

60代以下はこの必要性を強く感じており、特に50～60代は優先度が高い。

→送迎される側よりも、送迎している側が切実に求めているのではないか!?

## ②状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動

50代以上がこの必要性を強く感じている。

## ③草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理

50代以上がこの必要性を強く感じている。

## ④婚活イベント、紹介など、結婚対策

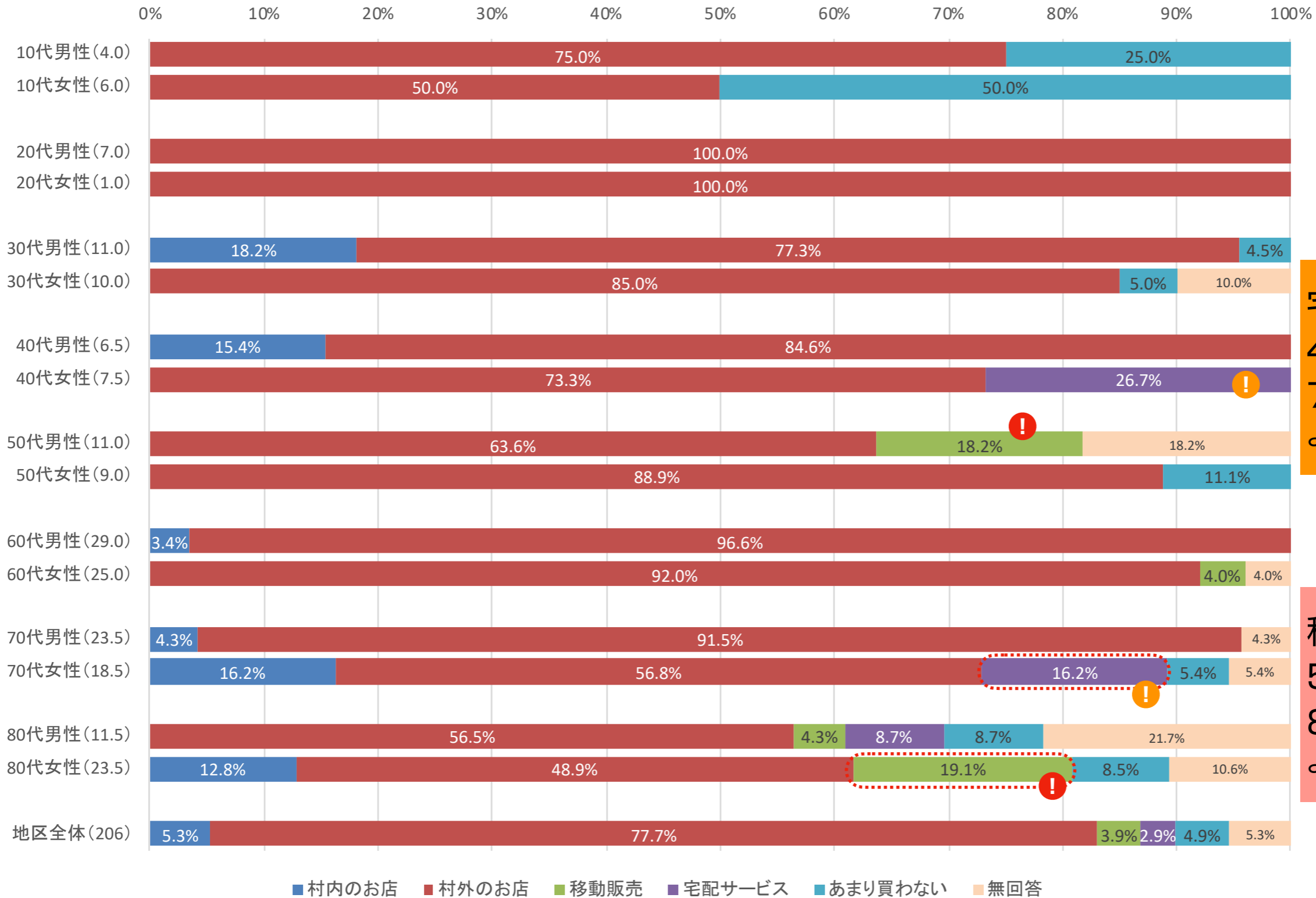
50～60代がこの必要性を強く感じている。30～40代も比較的高い。

## ⑤見回りなど、防犯・交通安全活動

60代以下で、この必要性を強く感じている。

# 生鮮食品の購入場所

関川村九ヶ谷地区 (2020)



宅配サービスは  
40代女性と  
70代女性が比較的  
よく利用している

移動販売は  
50代男性と  
80代女性が比較的  
よく利用している

大半が村外のお店で購入している

☑ **農業従事者の92.9%が60代以上。**

将来的な農地の維持管理は大丈夫か？

☑ **80代になると自分で車を運転する人の割合が減少。**

- ▶ 日常生活での移動が困難になる人の数は、今後、確実に増加していく。

☑ **買物・通院などの移動支援は、今後の重要なテーマだという認識されている。**

- ▶ 60代以下がこの必要性を強く感じている。（現在、高齢者を送迎している側が切実に求めている）
- ▶ 大半が車の運転ができるため、「今は困っていない」状況。ただし、車の運転ができなくなると、日々の暮らしに困る人が急増することは確実。

地域の人口構成を勘案すると、移動支援はすぐに着手すべき課題

☑ **全体の半数以上がインターネットを利用**

- ▶ 50代以下は大半がスマホでインターネットを利用。

50代以下はスマホ経由での情報伝達の方が効果的？！



**☑必ずしも「地域活動に参加していない＝関心が無い」という訳ではないではない。**

- ▶ 現状は30代～70代が頑張っているので地域活動が回っている状態。
- ▶ 20～60代は「関心あり＋不参加」が3～4割いる。その理由の第1位は「余裕が無い」。40代以下の9割以上がこれを理由にあげている。
- ▶ 「関心なし＋付き合いで参加」の理由では、第2位に「頼まれた」が来ている。

多様な地域活動への関わり方を設けることで参加の可能性があるのでは？

直接対話を通じて、さらに理由を深掘りしていくことが必要。

**☑30～50代で土曜日が毎週休日であるのは、かなり少数。日曜日が毎週休日なのは5割という状況。**

- ▶ この世代は、必ずしも土日が休日ではない。

この世代の参加を求めるのであれば、開催日設定の配慮が必要。

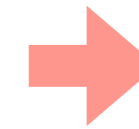
**☑近所づきあいについては、半数が「悩みなし」。**

- ▶ 40代以下はさらにその割合が高まるが、50代以上は地区平均よりも低下する。

役員を経験すると、悩みごとが増えていく!?

☑**役員世代も中堅世代も、もっと女性・若者の声を反映すべきと思っている。**

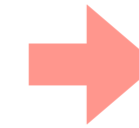
- ▶ 40代は声を反映すべきの割合がかなり高く、30代女性・50代男性も6割以上が必要と回答。
- ▶ 60～70代の男性（役員世代）も、2/3以上が「必要」と考えている。



お互いにその気はある！声を反映させる機会の充足・工夫が求められている。

☑**地区全体では半数が、移住・定住者の受け入れが必要と考えている。**

- ▶ 50～70代男性は2/3以上が必要と回答している。
- ▶ 10・30代はあまり肯定的ではなく、50代以下の女性は2～3割が疑問を感じている。



定住受け入れ・他地域との交流に関しては、世代・男女によって意向は異なっている。

☑**他地域との交流の必要性については、「わからない」と「必要」がほぼ同じ割合。**

- ▶ 20代男性・60代男性は半数以上が必要と回答。
- ▶ 10代女性・40代女性は半数以上が否定的。



☑️地区全体では約半数が「住み続けたい」と思っているが、40代以下はその割合が地区平均よりもかなり低い。

- ▶ ただし、「わからない」という回答が40代以下は4~8割もある。

☑️地区全体では「自分の子どもにも住み続けてほしい」と回答は3割。ただし40代以下は「思わない」の割合が相当高い！

- ▶ 50代以下の男性は4~7割が「わからない」と回答。
- ▶ すべての年代で女性は「思わない」の割合の方が高い。

☑️地区全体の半数以上が「地域に愛着がある」と回答。

- ▶ 50代以下の愛着度は低くない。「わからない」という回答も4~5割。
- ▶ 「誇りに思う地域資源」については、世代によってかなり異なっている。

親世代の意向が子世代に影響している可能性大。

「わからない」が多いということは、これからの取り組み次第！

愛着があっても定住意向が低いのは、将来への希望・安心感が足りていないことが要因ではないか。

☑暮らしの中の困りごとトップ5は、

- ①商店が少なく、日常の買い物が不便
- ②屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪
- ③農地や山林の維持管理
- ④健康面への不安
- ⑤災害への備えや避難



☑今後、重点的に取り組むべきテーマトップ5は、

- ①買物・通院など、移動支援活動
- ②状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動
- ③草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理
- ④婚活イベント、紹介など、結婚対策
- ⑤見回りなど、防犯・交通安全活動



困りごとの内容をさらに深掘りしていくことが必要。

ただし、世代によって上位にランキングされている内容はかなり異なる。(特に若年層)若年層は少数派であることを十分に認識し、丁寧に扱うことが求められる。